

第28回「日退教組織活動交流集会」(2022年10月14日)

レポート

第1分科・分散会 「平和・組織」

① 「組織強化に向けた北退教の情宣活動について」

北島義久 (北海道退)

組織強化に向けた北退教の情宣活動について

1 情宣活動の役割

退教組織はもともと高齢のため現職に比べ諸会合が持ちづらいうえにコロナ禍の中で対面による取り組みが一層困難になっています。こうした中で機関紙等の情宣活動が一段と重要になっています。

退教の情宣活動は次のような役割を持っていると思われます。

- 1 退教の取り組みを知らせる
- 2 生き生きした退教の向けての会員のつながりや交流の場
- 3 退教の課題解決に向けた問題提起
- 4 退教活動の協力に向けた組織以外への広報、など

2 北退教の情宣活動(1)

今年度の北退教の運動方針と昨年度の取り組み状況は次の通りです。

方針

(5) 懇親、交流、情宣等きずなを深める取り組み

情宣活動の強化

- ① 「北教」(北退教版)は、内容の充実を図り年4回発行します。
発行日は 6月16日(木)、10月14日(金)、1月26日(木)、4月7日(金)
北教組全組合員向け「北教」(北退教特集)の編集に協力し加入拡大に努めます。「事務局通信」及び資料の充実を図ります。
- ② 各退教は、情宣活動を強化し組織の活性化を図ります。「北教」(北退教版)と各退教情報の発行日を合わせ、効率の良い情宣活動を進めます。
- ③ 機関紙の手配り地域の拡大を図り、組織強化に努めます。
- ④ 各退教は活動推進・交流のため情報機関紙(誌)60部を北退教に送付することとします。

昨年度(2021年度)の取り組み

(情報宣伝活動 情報活動の強化、大切な各退教便りの交流)

全道的な会合が困難な中で機関紙による活動交流を行ってきました。「北教」北退教版、「事務局通信」を軸に情報活動に力を入れ、北教組の協力により21年度も現職版「北教」に見開き2・3面の北退教加入特集を載せることができました。(2月11日号)

また、「米寿会員の声」「おたより」、「新会員の声」、「各退教からの発信」「女性会員は今」「各退教便り拝見」「川柳・漫画」等、会員の声や各退教の活動を載せるよう心がけました。

21年度は「米寿会員の声」71名、「新会員の声」27名、「おたより」24名、「各退教からの発信」24の全退教。今後もさらに読みやすく親しみやすい紙面づくりが課題です。また各退教の機関紙は60部送付していただき「事務局通信」に同封し各退教に送付、各退教の活動を知るうえで大変役立っています。今後ともご協力をお願いします。

各退教で活発な情宣活動

各退教は、情報活動に積極的に取り組み大きな役割を果たしています。「網退教オホーツク便り」、「空知中央情報」、「ひだか路」、「一筆啓上」、「北教札退教版」、「室退教だより」、「樽退教豆ニュース」、「上退教だより」、「旭退教だより」、「後志退教だより」、「帯退教だより」、「十退教だより」、「中空知退教通信」、「北空会報」、「南退教通信」「いさりび通信」「釧退教だより」をはじめ各退教の特色を生かした个性的で読み応えのある紙面づくりが行われています。北退教は各退教の協力により各退教情報紙を配布、交流に努めてきました。

手配り運動、総会員数の四分の三に定着

情報紙配布だけでなく訪問時の懇談等組織強化のため全道24退教のうち17の退教と、札退教の約4割で手配りが行われています。今後、さらにこの取り組みを進めることが大切です。

情報紙の手配り運動を行っている退教（一部手配りの退教も含む）

旭川、函館、夕張、帯広、小樽、札幌、釧路、空知中央、網走、上川、日高、十勝、北空知、中空知、留萌、後志、渡島、

具体的な内容(最近号より)

1) 北退教のとりくみ、主張等

国葬反対の取り組み、連合会長の国葬出席、半旗強要、参議院選・沖縄知事選、

2) 交流、つながりなど

米寿・喜寿特集、新会員の声、女性会員は今、各退教からの発信、おたより、北政連議員奮闘記、イラスト、川柳

*他団体等への働きかけ

北教組本部・支部、日退教・各県退教、北政連議員、道退連等へ送付

2 「北教・北退教」版(184号、1面の一部)と誕生カード



米寿
喜寿
特集

米寿を迎えて

戦前から戦中、戦後の激動の88年生をむかえた米寿200名、喜寿76名の皆様、大変おめでとうございます。

今年も米寿を迎えてのひとことをお願ひしましたところ76名の方々がすばらしい原稿をお寄せ下さいました。大変ありがとうございました。

誕生カード

あなたの誕生日を
 心よりお祝い
 申しあげます。
 これからも
 どうぞお元気で
 おすごし下さい。

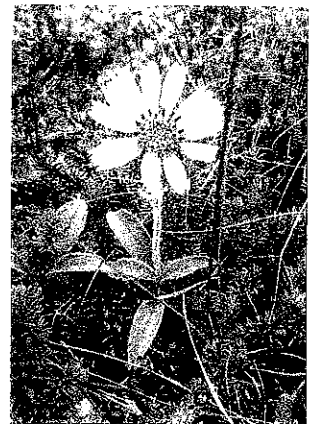
ひととことば

「どんなことがあっても
 手をつながないといかん。」

意見が違っても手だけは伸ばせー」

(坪井 直)

二〇二二年十月、九十六才で死去。広島で被爆直後から四十日間意識不明、奇蹟的に助かる。元中宇教員。被団協理事長。オハマ大統領と広島で会見。「核兵器がなくならない中で、オハマ・キーン・アッブー」で原爆を最後まで生きて世に訴へ続けた。



ウサギギク ◎花言葉「愛嬌」
 高山植物。撮影地 十勝連峰「美瑛岳」
 2021.8. (写) 北島義久

3 事務局通信



発行 北退教事務局
編集責任者 北島 義久
電話 011-561-8532
FAX 011-532-0239
発行日 2022・2・28(月)



現在55名加入！

いよいよ3月、

各退教の皆さん、コロナ禍のきびしいなが
りがとうございます。

加入強化期間最大の山場2. 次の取り組みの強化をお願いします。

た。！とりくみに全力をあげ

1. 支部・支会と話し合いをさらに進 めます。

① 退職予定者の最終確認及び2月11日発行北教「

② 分会からの加入の声かけが行われたかどうかの確認と今後の取り組み
退職予定者のおられる学校ですでに分会役員等から退職予定者に北退教加入
の声かけが終わっているかと思えます。しかし、まだ終わっていない分会の声か
けの取り組み、また、声かけした分会では退職予定者の反応をもとに今後の対策
について等協議をお願いします。(同封の2月3日北教組全道戦術会議で出された
「現退一致による北退教加入強化の取り組みについて」をお読みください。前号同封を
忘れ申し訳ありませんでした。)

① 北教組支部と協議し分会の取り組みがまだのところについては支部から分会
に「分会長(役員)から退職予定者・再任終了で退教未加入者に、
勧誘チラシ、入会申込書等をわたし加入の声かけ」を再度お願い
する。

② この分会の取り組みをもとに各退教から再度加入要請文書、加入パ
ンフ等を送付、電話等で加入を要請する。

③ 「入会について今すぐは…?」「再任用なので…」等の人には
退教「だより」「北教・北退教版」等の送付希望を聞き、連
絡先を確認、継続して加入に取り組む。特に再任用終了を迎
えた人への取り組みを強める。

④ 退教役員等が直接対応できる既退職者にたいしては、はがき
や電話で加入を勧める。

⑤ 配偶者会員の拡大に取り組む。北退教規約4条「会員死亡及び現職

第28回「日退教組織活動交流集会」(2022年10月14日)

レポート

第1分科・分散会 「平和・組織」

② 「仙台支部通信『おーい!』の発行について」

文屋俊英 (宮城県退)

第 28 回組織活動交流集会レポート 第 3 分科・分散会

宮城退教協 仙台支部 通信 「おーい！」 の発行について

発表者 文屋 俊英

1. 通信の発行経過

仙台支部は、支部退教協会員が 60 名余の支部である。県内最大の支部であるが、会員は 5 つの区に分散している。なかなか互いに会う機会がない。

2016 年 6 月 24 日支部総会で、会員相互をつなぐ「通信」の話題が持ち上がった。しかし困難点も予想された。

①誰が編集の中心になり、パソコン入力をするか。 ②原稿をどう集めるか。 ③支部からの連絡事項では、誰も手に取らなくなる。 ④配送はどうするのか。

④は、支部役員が担当することで、すぐ決定。③は、少なくする。支部員同士の交流の紙面にする。問題の①②については、もと県教文部長だった春日辰夫氏が引き受けてくださることとなった。

2. 「おーい！」の発行 (全記事内容)

☆第 1 号 2016 年 7 月 20 日

支部通信発行について	支部長	半澤義彦
通信名のこと		春日辰夫
私の趣味 郵便切手をあつめて 70		小関幸生
沖繩 慰霊と連帯の旅		津田正敏
支部事務局の動きと今の私	事務長	佐々木光一
会員近況報告		6 名より

☆第 2 号 2017 年 6 月 23 日

カナダ トロントでの映画上映会		佐藤 進
コトバを書きのこす ぐいらむずってわがんねえ		前野忠夫
「東北でよかった」を考える		佐々木永一
私の きのう・きょう		白石重弘
サラサドウダン		村上孝夫
会員近況報告		9 名
事務局だより あとがき	事務長	かすが

☆第 3 号 2017 年 9 月 16 日

いま、保育園に行ってます		日食正昭
フルーツが日課のひとつ		小畑 章
今、退教協に思う		前野忠夫
ヒガンバナ		村上孝夫
授業 「電気を良く通すもの」		紺野 勇
支部研修会ご案内		

☆第 4 号 2017 年 12 月 15 日

軍国少年が福祉と平和運動へ専念するまで 平和憲法と日米安保のはざままで		高橋 治
いま思い出すこと 生き方に影響したいくつものこ		谷本 昇
私の近況 油断大敵		渡辺 知
支部研修旅行報告 『民本主義に学ぶ』大崎・鳴子の旅		佐々木光一
あとがき		かすが

☆第 5 号 2018 年 2 月 20 日

軍国少年が福祉と平和運動へ専念するまで 福祉の充実こそ人権・平和の保障		高橋 治
私の過ごし方三つ		齋藤 章夫

人生雑記 ～「ゆでガエル」への自戒をこめて～ -----	富樫昌良
ネコヤナギ -----	村上孝夫
映画 えいが エイガ I -----	文屋俊英
日中労働者交流協会 第4次「日中不再戦の誓いの旅」報告 -----	相沢瑞男
会員近況報告 -----	5名より
あとがき -----	かすが
☆第6号 2018年6月7日	
栗駒山の残雪「種蒔き坊主」を見て想う -----	酒井孝夫あ
あつという間の十年のあれこれ -----	阿部誠喜
「大川小津波訴訟」高裁判決に思う -----	千葉保夫
感謝状（川柳十句） -----	松崎正人
前川喜平さん講演会報告記（1） 不撓不屈の精神を貫いた -----	
文部官僚は、ユーモアあふれる楽しい人だった！ -----	酒井孝夫
あとがき -----	かすが
☆第7号 2018年12月21日	
前川喜平さん講演会報告記（1） 「明治維新の産業革命遺産」問題のことな -----	酒井孝夫
いつも茶の間に！ -----	佐藤 裕
今 思っていること -----	阿部耕己
18年「慰霊の日」沖縄 全戦没者追悼式にて 平和の詩 「生きる -----	相良 倫子（中学3年）
古い フル～イ話 -----	N T
あとがき -----	かすが
☆第8号 2019年2月25日	
故郷の自然と向き合う -----	千葉保夫
初任校での思い出 -----	今野 健
第三の職場で -----	菅井 仁
学校事務雑感 -----	渡辺 誠
事務局だより あとがき -----	佐々木 かすが
☆第9号 2019年6月21日	
大人の修学旅行 -----	白石弘重
人生に影響を与えた本とは -----	佐藤 進
初任校の思い出 -----	半澤義彦
初任校でのこと -----	春日辰夫
ホタルブクロ -----	村上孝夫
あとがき -----	かすが
☆第10号 2020年1月10日	
特集 仙台支部研修旅行報告記	
その1 その概要の報告 -----	白石弘重
その2 震災遺構・伝承館をたずねて -----	半澤義彦
その3 「海の幸」に囲まれて -----	佐々木光一
その4 椿と浜菊がよく似合う大島 -----	津田正敏
その6 前浜マリンセンター建設プロセスの復興に学ぶ -----	千葉保夫
その7 「奇跡の松」がここにも -----	今野 勇
あとがき -----	春日
☆第11号 2020年3月21日	
私の半生記（1）保父から教員へ -----	南 明良
我が家の菜園 1本のプロッコリーを楽し -----	千葉保夫
「日教組」との出会い -----	前野忠夫
事務局だより あとがき -----	佐々木 春日
☆第12号 2020年5月28日	
「私たちは民主主義社会です。私たちは強制ではなく知識の共有と協力によって生き	

ていまず」(ドイツ首相メルケル演説 2020年3月18日 -----	佐藤 進
私の半生記(2)講師から正規採用へ -----	南 明良
映画 えいが エイガ II -----	文屋俊英
教育文化研究センターは 貴重な学習の場だった -----	菅井 仁
事務局だより あとがき -----	佐々木 かすが
☆第13号 2020年9月8日	
あの時代 -----	前野忠夫
2ヶ月ぶりのリズム ー福田町あしぐろ保ー -----	日食 正昭
人生いろいろ ー登り坂・下り坂・まさかー -----	小関幸生
サイクリングの思い出 -----	鈴木 明
会員近況報告 -----	29名より
事務局だより あとがき -----	佐々木 かすが
☆第14号 2020年12月7日	
早春のブナの森を撮る -----	千葉建夫
私の半生記(3)29年間の教師生活(上) -----	南 明良
サイクリングの思い出(後編) -----	鈴木 明
事務局だより あとがき -----	佐々木 かすが
☆第15号 2021年3月5日	
今思う 二つのこと -----	遠藤利美
まさかのゴールとスタート -----	二本柳淳一
植物の名まえあれこれ -----	村上孝夫
現状を大きく捉えつつ今できる小さなことを持続的に -----	高橋丈夫
私の半生記(4)29年間の教師生活(下) -----	南 明良
あとがき -----	かすが
☆第16号 2021年5月29日	
よい人たちに恵まれた人生 -----	小畑 章
性教育開眼(山本宣治の産児制限運動に学ぶ) -----	今野 健
映画 えいが エイガ III -----	文屋俊英
思い出の宝物 -----	紺野 勇
事務局だより あとがき -----	佐々木 春
☆第17号 2021年8月25日	
市民一人一人が参加することによって! -----	津田正敏
太陽光発電が環境破壊 ー富谷で起こっていることー -----	相沢瑞男
“重症者以外は家で死ぬ”だな! -----	佐々木永一
私たちの信託に応えられる人を! -----	佐々木光一
あとがき -----	春日
☆第18号 2021年11月15日	
小人閑居して虫を語る -----	千葉信一
三池闘争について小学生も闘った三池闘争(私の叔母は三池出身) -----	阿部瑞男
ジジイからマゴへの手紙 -----	佐々木永一
私の半生記(5)教員退職後の生活① -----	南 明良
あとがき -----	春日
☆第19号 22年3月8日号	
いすば山学校の共有地整理の顛末 -----	佐藤 進
病との付き合い -----	富樫昌良
私の半生記(6)教員退職後の生活② -----	南 明良
会員近況報告 -----	19名より
事務局だより あとがき -----	佐々木 春
☆第20号 2022年6月28日	

教々の『『おーい！』に込めて	-----
映画 えいが エイガⅣ	-----
私の半生記(7) 教員退職後の生活③	-----
6月前半の近況 ~なんだり・かんだり~	-----
事務局だより あとがき	-----
☆第21号 2022年9月20日	
ニュースの 落穂ひろい	-----
小学校国語教科書を読んで 意味が通じればいいのか	
ーくつつき(助詞)の「へ」と「に」のはたらきー	-----
定年後のあれこれ	-----
6月前半の近況(つづき) ~なんだり・かんだり~	-----
会員近況報告	-----
事務局だより あとがき	-----

菅井 仁
 文屋俊英
 南 明良
 白石弘重
 佐々木 かすが

酒井孝夫

 千葉建夫
 小畑 章
 白石弘重
17名より
 佐々木 かすが

3. なぜ『続ける』ことができているのか

4. 今後のこと

5. 終わりに

第28回「日退教組織活動交流集会」(2022年10月14日)

レポート

第1分科・分散会 「平和・組織」

③ 「参議院選挙の取り組みから組織強化を展望して」

平野直比古 (千葉県退)

参議院選挙の取り組みから組織強化を展望して

1. はじめに

私たち、千退教は、現在戦われているウクライナ戦争の報道が西側一辺倒に偏っていると考えていた。例えばあのイラク戦争の時は、あたかもサダムフセインが悪者のように描かれつつ戦争に突き進み、あの時もアメリカ一辺倒の報道だった事を確認し合った。

戦争をは受遺メタブーチン大統領が悪いことはそうだが、それに至るアメリカ側の画策も、ウクライナ・オン・ファイア（オリバーストーン作）等にもあるように、明らかであり、「憂える歴史学者の会」の訴えのように、とにかく、停戦をさせることが何より求められていると話し合った。

政府自民党は、この戦争を台湾有事に結びつけ、辺野古や鹿児島県の馬毛島の基地強化と、そのための防衛費を増やそうとしていること、そして今度こそ改憲をやり遂げようとしていることについて、それは何として求めなければならないと議論し、選挙に取り組んでいったのである。

私の所属する支部では、2回役員会を開き、自分の担当する退教の仲間だけに限らず、声をかけられる人に一人でも協力を呼びかけようと提起した。こうしたことを提起したのははじめてのことだった。

2. 私の取り組み

私は今回は、実際に戦禍の苦しむウクライナの人たちの悲痛な叫びが連日流されているので、それを軍事的に支援するアメリカや NATO の動きを批判するのはオルグに困難さがあるとしみじみ感じていた。今年も、昨年の衆議院選から、今年の参院選の困難さも予測できたので、これまで出していた 100 枚の年賀状に加えて、過去の支持者の名簿から更に 100 人をリストアップし、200 枚の年賀状を出しておいた。もちろんそこには選挙のことには全く触れず、時候の挨拶しか書いていないものだが、こちらの存在を意識させるためのものでしかなかったのだが、返事の届いた 173 名はこれからのオルグ対象者となったのである。

2. 具体的につかんだ声

KYさん（60歳くらい・塗装店をしていた元教え子の母、）

（私の話を聞いた後で）そうだったのですか？そんな風になっているんですか？ニュースって本当に本当のことを報道しないんですね、私達は何も知ることが出来ない状態になっているんですね、驚きました・・・。わかりました。協力します。（K君にも言うておいて下さい、という）わかりました、話しておきます。とってくれた。昨年の衆議院選の時は、K君と話し、協力をもらっていた支持者である。

KHさん夫妻（夫は同級生、施設責任者、昨年一年間、施設運営に当たって最大限の支援をしてきたことで感謝されている。昨年の衆院選の時は、ウクライナ騒動もなかったので、

二つ返事で指示してくれていた夫妻)

KHさんは「話はわかった、確かにそういう考え方はあると思う。人は生き立ちやら環境で様々な考えを持つものだと思う。今は自分としては、これからは防衛費も増やしていかなくちゃいけない時代だと思う。もし、中国やロシアが攻めてきたら、話し合いでやっとうとうとしても無理だと思う。今回は協力できない」とはっきり言って、いくら話しても聞いてもらえなかった。

しかし、奥さんはそばで聞いていて、しばらく話すと何度も私の話に相づちを打つように変化していった。しかし、彼との信頼関係はこれまでかなりしっかりと築いてきたことなので、それで全く平行線となっても、関係は全く揺るがないのではあるが・・・。

あのイラク戦争の時のように、今回のウクライナ騒動もアメリカの悪行が後で、必ず暴かれ、私の言ったことが正しかったと理解される時が必ず来ると思うが・・・。

UKさん(50歳くらい、理容師、元教え子、私の家からはちょっと遠いけれども、散髪はいつも彼のところでやっている。いつも私の話は、「金、払わないでいつもいろんな事が聞けてとてもいいです、勉強になります」と言ってくれている、去年は電話一つで協力してくれた彼であるが・・・)今回は以前のようにうなずきながら話を聞くことはこれまでのうちで一番少なかった。それでも資料は受け取り、「考えておきますよ」と話してはくれた。

ACさん(55歳くらい、遠縁の親戚、教え子の母) <10年ぶりに年賀状を出し返事をくれた人> 開口一番、先生、年賀状ありがとうございました。と言ってくれた。

こちらの話に一言ずつ頷き、よくわかりました。協力します。と言ってくれた。

SGさん(商店経営、息子は教え子、プーチンの熱烈な支持者、プーチンが大統領やっている間にロシアに行ってみたいと公言してはばからない)

彼女は、いつもネットで様々な情報をゲットし、教えてくれる。最近では、イタリア在住の日本人の声がユーチューブに乗っていたと話してくれたのだが、何でもイタリアでは、いろいろな意見の人がいて様々な考えを座談会などで紹介しているのだが、日本ではロシアが悪い、と言ったことだけの報道がされることに驚いているという。喜んで協力しますと言ってくれた。

STさん(75歳くらい、退職女性教員、10年前までの約20年間、一貫して支持を寄せてくれた人、10年前に、もう時代も変わったので、支持をするのを辞めさせて下さい、と言って離れた人だった。私の年賀状に対し、<私が>市議員に立候補をするので年賀状を出すようになったのではないかと考えていたという)古賀千景をお願いすると、二つ返事で快諾してくれた)

HTさん(50歳くらい、昨年まで町内会の役員、私が、区長をやっていたとき、私のことをとても評価してくれた人だった。タクシーの運転手)

私の話を聞いて、「それだけ詳しい人はいないんじゃないかい?よくわかりましたよ、確かに先生の言うとうりだよ、協力しますよ」と言ってくれた。

Wさん（70歳元教師、男性）

「ロシアも中国も好きじゃないけど、だからといってじゃあ、戦争をすればいいわけじゃない。今の流れだと、日本も台湾で事が起こると戦争に巻き込まれちゃう感じだよな。理想論かも知れないけど、やっぱり話し合いで戦争にならないようにしていくしかないよねえ、そんな気がしてきたんだよ」

*彼は昨年はこちらまではっきりとした意見を持てなかった人である。そして今回は協力するとはっきりと明言してくれた。

Iさん（79才、運送業者、近所の人）

私のウクライナ戦から台湾有事を順する自民党政権の話聞いたあと「へ～、そんな風になっているんですか？怖いですねえ、こわいですね～。で、誰を入れればいいんですか？」と協力してくれた。

SHさん（74才、理容業男性）

戦争法が強行可決されたとき、息子が身の危険を感じ自衛隊を辞めた人の父親。

「今のまま、この国が進んでいくと日本は戦争になってしまいそうだよな。俺も、先生が言うように、この国はもっとうまく立ち回らないといけないと思う。このままだと、自衛隊員になる人はいなくなっちゃって、徴兵制になっちゃうんじゃないかなあ。で、誰に入れればいいだかい？」と言って協力してくれた。

息子が自衛隊員であるという70代の2家族（隣同士）

「なんか、最近国同士がとげとげしくなっちゃっていて、これ、何でこうなっちゃったんですかねえ？今の状況が続くと戦争になるのじゃないか、自衛隊員になった息子が心配何ですよ」「息子は北海道にいるが、向こうでは、訓練がすごくなっていて、息子も『国の偉い人が決めて自分たちは戦争に出されるんじゃないか』と、とても心配しているんですよ」と不安そうに話してくれ、快く協力してくれた。

WAさん（85才、元学校栄養士）

尋ねていくと、足を引きずりながら玄関口に出てきた。久々の再会だったので、いろいろと話したあとで「私はもう年で車の免許も返納してしまったので、足も不自由なんでもどこに行くにも動けなくて本当に困っているんですよ。館山市は循環バスを運行しているけど、そのバス停まで行けない人はどうしたらいいのか？これじゃあ不公平だ」とこぼしていた。この件については、二人の市議員に対応の改善を伝えてあるが、もう少し積極的に働きかけをしていく必要があるが・・・。

ISさん（80才、女性、元教え子の保護者）

これまで一貫して私の運動の理解者の方であるが、私のウクライナ戦争から台湾有事に向かう自民党の今の動きの説明を聞いたあと「そういう風になっているんですか？本当に報道が本当のことを伝えていないんですね、今、話したようなことをニュースにして定期的に配布してくれませんか、月、1000円くらいなら払いますけど？」と言

ながら支持を約束してくれた。

TBさん（元教師、女性、68才位、塾の同僚）

「とにかく、憲法九条を守っていかなくちゃいけませんよね、私は3年ほど中国で日本語の教師をしてきましたけど、向こうでもいろいろな情報が入ってきますよ。日本はアメリカ側の報道に偏っていますよね。わかりました」と協力してくれた。

KOさん（家具店経営、74才男性）

何才か年下の奥さんもとなりに座って私の話を聞いてくれていた。娘さんが障害者で、もう40才くらいになるがこの夫婦は、これまで苦勞をし続けてきたのだが・・・

彼は私のウクライナ戦争と日本の台湾有事との関わりの話を聞いている途中で、「平野さん、あんたはプーチンの味方をするのか、今回は協力できない」と大きな声で言うので、すぐ家の奥に入って行って言ってしまった。取り尽くしなかつた。しかし、あとに残った奥さんは、「私は先生の話はわかりますよ、とにかく戦争をしちゃいけないですよ。私の父は兄弟が二人戦争で死んでいるんですよ。だから父は生前、とにかく戦争はだめだ、といていましたから、考えてみます」と話してくれました。

*奥さんのお父さんのことはじめて聞いた。遺族はいつまでも戦争で身内が亡くなったことを考え続けていると言うことなんだろう。当然のことだが・・・

そして当の奥さんは・・・（人づて聞いたことだが、）私のことを「平野先生はいい人ですよ」と話していたそうである。

3. 選挙を終えて

体調を崩してしまったこともあり、実際に回り獲得できたのは120票りに終わった。回ってみて、そして具体的に話してみても、前回（昨年）以上にマスコミの報道に影響を受けている人もいた反面、危機感を感じていた人も少なくなかった。

そして、私たちの運動は世のため人のための運動である。そのことをわかってくれた人はとても多かった。そして、「ご苦勞様」とか、「ありがとうございます」とか言ってくれた人もいた。厳しいことを言われ、落ち込むこともあったが、理解してくれる多くの声に励まされながらの取り組みだった。そして厳しいことを言う人には、その背後に戦争を企てようとしているサタンがいるわけで、彼らこそ戦争の犠牲者になり得る人たちであると考えようになった。そのためにも運動の強化が強く求められている時代であると言える。

千教組本部の委員長や書記長、支部の書記長にはこの取り組みについて伝えたのだが、彼らはとても感謝してくれている。そして私たちからのお願いや要請にはこれまで以上に支援しようという態度を表明するようになってきている。組織強化のきっかけにしようと幹事会で話しているところである。

第28回「日退教組織活動交流集会」(2022年10月14日)

レポート

第1分科・分散会 「平和・組織」

④ 「『戦争する国』づくりと改憲に反対するとりくみ」

黒田昭八（静岡県退）

<地区退教協の活動報告>

「戦争する国」づくりと改憲に反対するとりくみ

2022・10・1, 静岡県清庵地区退教協。

1, 2022年の初めに。

◆新しい年を迎えても、軍備増強・軍事同盟強化と改憲への動きが強くなってきていることを感じます。清庵・退教協としては、今年も「教え子を再び戦場に送るな！」の立場で反戦平和の問題にとりくむと同時に、会員拡大のとりくみも進めていくこと、を事務局メンバーで確認しました。

◆具体的には、

- ・事務局会議を月に1回ほど開き、企画・運営を行う。
- ・季節ごとの例会(会員が顔を合わせる)に、必要に応じて“集い”を開き、反戦平和について、皆で話し合いをしていこう。
- ・その前後に「清庵退教協だより」発行して盛り上げていく。(報連相を大切に)。そして、種々の平和集会やデモなどに自主的に参加していこう。
- ・日帰りの旅や懇親会など親睦・交流もたいせつにしたい、など。

2, とりくみの経過。

◇1・31、「清庵退教協だより」183号の発行。

- ・2月23日(祝日)「新年の会」のお知らせ。14:00～、おしげ会館。
- ・「11・13 清庵退・秋の集い」の報告—
 - ・寺田・県退会長のお話「10月衆院選とその後の動き」と論議。
- ・「清庵・星を見る会」(11・28)の報告。
- ・「従軍慰安婦「強制連行」が教科書から消される！

・2・11(金)、ジム局連絡—2・25 県退教・代表者会の中止のこと。

◇2・18、関東ブロック・活動交流集会(オンラインで)、山田さん参加。

(昨年12月、日退教組織活動交流集会(オンラインで)に清庵退・山田さんが参加。)

・2・20、「新年の会」(2・23)を延期、のハガキ発送。

*3・15、事務局会議—県退・地区代表者会の議案(2・25の会は中止)の検討。

◇3・23(水)、今年度退職教職員に加入呼びかけを発送、14名に。

8年余にわたる政治、、、安倍元総理大臣を最大限持ち上げての〈国葬〉に我々は強く反対する。」 賛同の声、承認。

◇「事務局のお知らせ」で、閉会。 懇親会は残念ながらコロナのため中止。

◆9・21(水)、「清庵退教協だより」187号の発行――

- ・詩「逝いて還らぬ教え子よ」
- ・「8・27夏の会」の報告。
- ・2006年作成パンフ「教育基本法の『改正』、ここが問題です！」。

3.まとめ。

◆反戦平和のとりくみ～「6月の会」「8月の会」で話し合ったことを中心に。

◇ロシア・プーチンのウクライナ侵略については、どっちもどっちだという意見もあったが、総じてロシア・プーチンがウクライナを侵略した＝ウクライナに侵攻し、住民を殺害、住宅・施設を破壊し、領土を統合しようとしたこと、を確認した。さらには、ウクライナ人民はプーチンをスターリンの末裔として憎み、抵抗したのだということ、レーニンに反対したスターリンの「一国社会主義」という問題、ロシア革命やその後のソ連の動きについても見ていかななくては、という意見も出された。今後の課題にしたい。

◇ウクライナ侵略に関連して日本国内では、中国に備えて、軍備増強、軍事同盟強化と9条改憲の動きも強くなってきたこと、若者の間にも「軍備が必要」と言う意見がひろまっている状況だが、どうすべきか。軍備増強は必要だという意見もあるが、多くは反戦平和のとりくみをしっかりやることが重要だ、という意見だった。関連して、芳野・連合会長の自民党寄りの姿勢が労働組合の反戦平和のとりくみをオカシクしているという意見もあった。総じて、戦争反対・9条改憲反対の声を上げ、運動を強めることが大切だ、ということを確認した。違う意見にも耳を傾け、じっくり話し合いを進めていくこと、それが運動の基盤だということも確かめ合った。

◆5・3 憲法記念日講演会、平和フォーラムの19行動などに参加。

◆地区退教協の会員を増やすことも重視～郷土史研究を聞く会、星を見る会、日帰り交流の旅、懇親会なども。

以上。

・6・8 (水)、ロシア大使館に抗議ハガキを送る。

◆6・28(火)、県退教・定期総会

- ・県退教会長挨拶、静教組委員長などの挨拶、経過報告、
- ・議事—21年度決算報告と22年度予算、新年度県退・役員、活動方針。参院選に向けて、古賀氏・山崎氏の勝利を。
- ・総会の後、「意見交換会」—寺田会長司会で、意見交換。

◆8・5、「清庵退だより186号の発行。

- 教員免許更新制廃止、新しい研修制度でさらに管理強化か！
- ・6・28 県退教・定期大会の報告。
- ・清庵退・6月の学習会の報告：「ナゼ軍備が必要と思うのか」など。
- ・映画「教育と愛国」を見て—感想。 ・19行動に参加を！

・8・15 (月)、「夏の会」の案内・ハガキを会員などに出す。

◆8・27(土)、「8月の集い」14時～、おしば会館。

◇鈴木孝雄さん(県平和・国民運動センター)のお話：「平和・改憲を考える」

*7月参院選で野党は惨敗、改憲派が衆参で議席の2/3を占めることに。

*情勢—ウクライナ戦争をどう考えたら良いのか。

- ・国内では、軍備増強、敵基地攻撃能力保有など戦争準備が進む。
- ・安倍元首相の国葬と改憲の動き、国民投票に持ち込ませないこと。
- ・憲法を見直そう—(「高校生向け日本国憲法」から)

*何を指すか—①労働組合の役割を重視したい。

②今後、学び合うこと。具体的な一歩を考え、実行する。

◇休憩後、話し合い1時間ほど。次々に質問・意見がだされた。

- ・「攻めてきたらどうするか？」と問われて直対応していたが、今はその前にやるべきことがいっぱいあるように思う。(賛同する声。)
- ・ロシアのウクライナ侵攻について—多くの疑問や意見がだされた。
 - ・戦争を止めさせるのがリーダーだ。第一次大戦のレーニンに学べ！
 - ・ロシア・プーチンの侵略戦争に対するウクライナ軍・人民の抵抗だ、女性も火炎瓶づくりなどしてレジスタンスだ。などなど。

◇安倍元首相の「国葬」に反対する抗議文を事務局から提案。

『「集団的自衛権」を合憲化、『秘密保護法』『共謀罪』制定、『愛国心教育』のための『教育基本法改悪』『歴史教科書の書き換え』『道徳の教科化』、…

◇3・25(金)、「清庵退教協だより」184号の発行

- ・プーチン・ロシアのウクライナ侵略反対！ 声を上げよう！
- ・関東ブロック集会（2・18、オンライン）に参加して
- ・県退・地区代表者会（2・15、議案と紙上表決）の報告。
- ・22年度 清庵退・総会案内（4・23、議案も同封）

◆4・22(金)、「ロシア・プーチンのウクライナ侵略」についての“会員の感想”(3月)を『声』として冊子(B4, 4頁)にまとめる。総会議案の一部として配布。

◆4・23(土)、清庵退教・総会(14時～、10名ほどの参加で)

- ①寺田・県退教協会長、松岡・清静教組委員長の挨拶—
- ②北村欽哉さんのお話：「江戸の社会変革者・白隠」。
- ③清庵退・22年度のとりくみについて。

(*総会・例会など欠席会員に会の資料を後日、送付。)

◇5・18、(水)、「清庵退教だより」185号

- ・本土復帰 50年の沖縄と米・日と中国の対立の図。(3月の新聞から)。
- ・4・23、清庵退教の総会の報告～・北村さんの話「白隠」など。
- ・5・3 憲法記念日講演会(県国民運動センター主催)に参加報告。
- ・黒川祐次著「物語 ウクライナの歴史」を読んで—感想。
- ・「芳野・連合会長が自民党本部を訪問」～? (5月の毎日新聞から)。

・5・27(金)、ウクライナ支援カンパ2万円を労金から県退教へ送金。

「古賀ちかけ後援会カード」を清静教組へ。

◆6・4(土)、14時～「6月の学習会」。

◇問題提起(事務局・山田さん) —

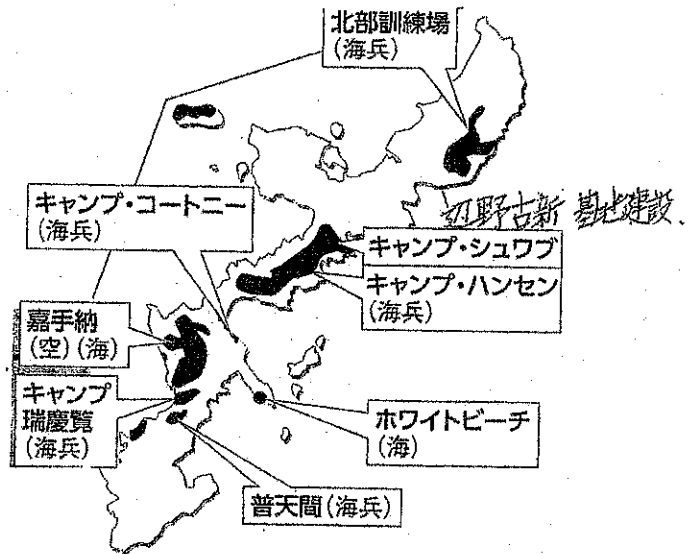
- ①『声』の感想：“ウクライナ侵略を見た子どもたちが『人間を信用するに値しない存在だ』と思うことがさらに悲しい”、～考えていきたい。
- ②政府、マスコミ、諸政党の改憲への「快進撃」の現状、
- ③防衛省自衛隊の「国防力強化・改憲への子供たちの洗脳」と題して、
『初めての防衛白書～まるわかり日本』の紹介(ネット公開)。

◇途中休憩、約2時間話し合い。

- ・ロシア・プーチンのウクライナ侵略とウクライナの抵抗について、さまざまの意見が出された。しかし、まだまだ論議する必要があることを確認。「事務局からのお知らせ」があつて、閉会。
その後、久しぶりに懇親会。

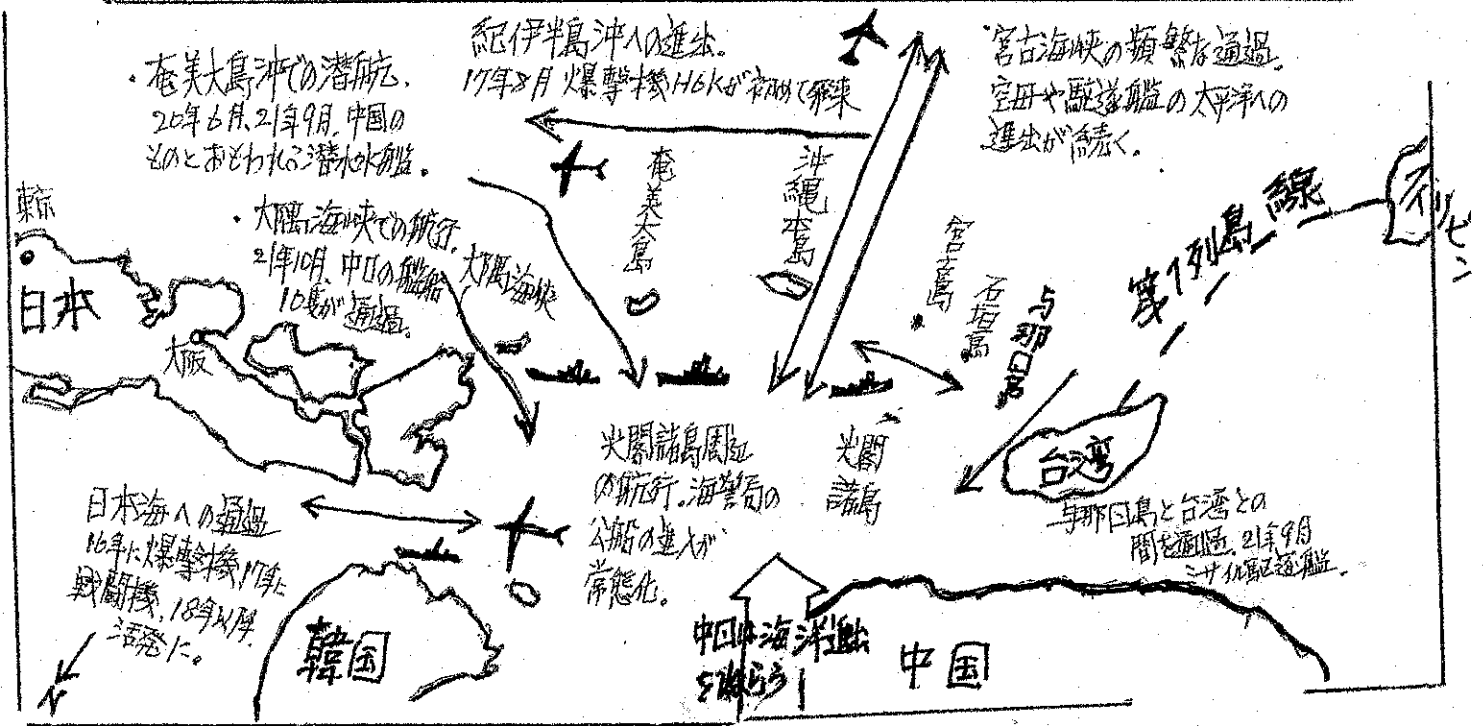
今年が沖縄が本土復帰して50年。
その沖縄は!?

- ◆対中国 沖縄の島々が最前線!
- ・海洋進出をねらう中国!
- ・日米は共同訓練で牽制する!



《第1列島線における日米中の軍事展開》

(2022・3・28、朝日) 写し。



■ 6月・学習会のご案内 ■

- ・6月4日(土)、14:00~16:30。・おしば会館 2階 大会議室。
- ・内容: 「改憲の動きについて。」
- ◆17:00~19:00、久々の懇親会 JR清水駅前。

<4・23 総会の報告> 今年も力を合わせてがんばろう！

「会員拡大の契機にしたいと考えてこの総会を企画しました」と言う司会の挨拶で始めました。寺田・県退教協会長と松岡・清静教組委員長の参加で総会らしくなりました。会員も10名参加。初めにご挨拶、そして北村欽哉さんのお話にすすみました。

◇松岡委員長：ロシア・プーチンのウクライナ侵攻に強く抗議したい。自民党政権下での教員の精神的疾患者が急増している現状を労組として打開していきたい。また分会の中で互いのつながりを強めていきたい。さらに、7月参院選での“古賀ちかげ支援を！”

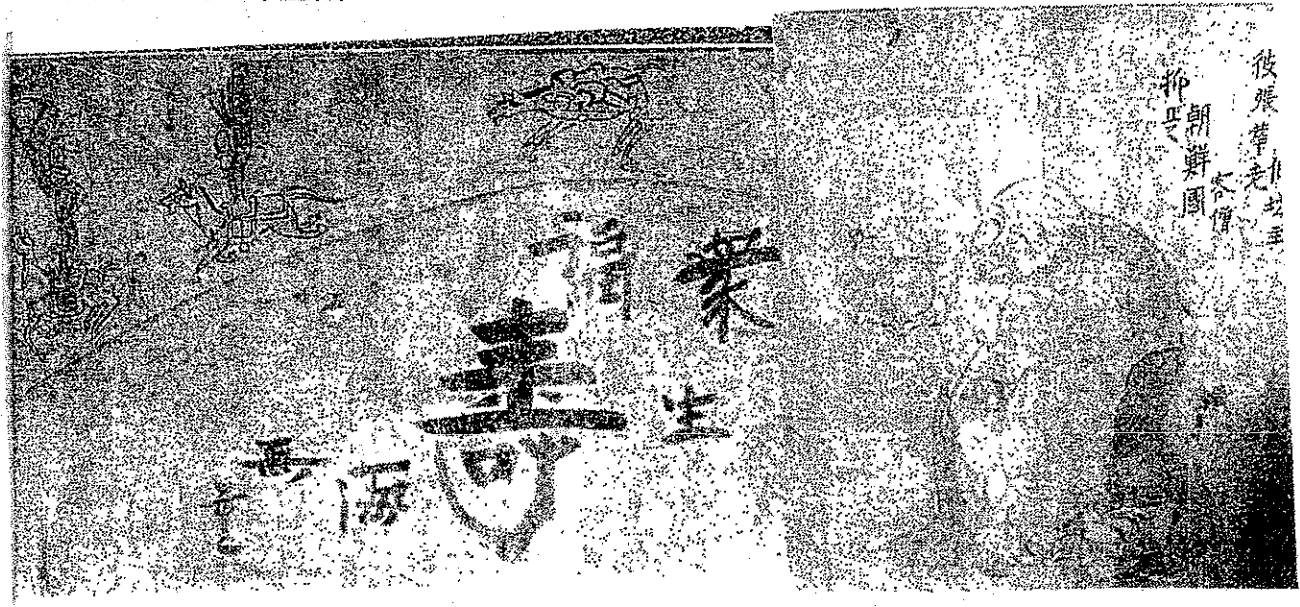
◇寺田会長：コロナ禍で対面の会合・活動はほとんどできず残念な状況だが、連絡を密にしてお互いに刺激していきたい。北村さんのお話と懇親会を楽しみにしている。

◆北村欽哉さんのお話「白隠—江戸の社会変革者」

- ・自費出版された冊子『馬上才』31号（皆に配布）にもとづいて話されました。
- ・静岡県清水区の薩垂山東勝院にある『馬上才図』は、白隠が描いたと公式には認められていない。が、白隠が描いたものに相違ないと、北村さんは確信しているということ。筆跡、年代、白隠の行動、思考、などから推論し確しかめてきたことなど具体的に話された。北村さんの行動力、探究心、ねばり強さが伝わってくる。また、穏やかでこやかな語り口で、面白く感じました。

◆質疑一次々に出されましたが略します。

<東勝院・馬上才全図>



◆総会議案=21年度の経過報告・決算報告・情勢・22年度活動予定⇒⇒承認された。
(P4参照)。 ◆14:45:閉会。懇親会の案内。 ◆15:00~懇親会。

■感想■

◇北村先生のお話は最初よくわからなかったが、資料を読み返しているとその内容が理解できたような気がした。自分の足で資料を捜してそれがつながったときの喜びと感動は想像を越えたものと思う。ありがとうございました。

◇北村先生のお話、大変難しく軽々に分かったとは言えない。江戸時代における対朝鮮関係を上下関係のみで考えるべきでないと思う。白隠禅師が徳川封建体制の下で、農民の側に立って生き抜いたという北村先生の主張には賛成です。

◇大変面白い話でした。時間があれば今の韓国との関係など(何故若い人は韓国を嫌うのか)話し合ってみたかったです。

◇一般には朝鮮通信使、江戸幕府は聘礼使と称していたらしい、察するところ、幕府の扱いは朝貢使節と言ったところが本音ではなかろうか。朝鮮からはテクニカルな知識導入は考えられなく、最終的には易地聘礼の名称で、江戸まで迎え入れず、易地、対馬藩で事を済ませている。偽計まで講じて使節の復興を図った意図が判然としないのが正直な感想。朝鮮交易が日本の近代化に益するとして、脱亜入欧を近代化のシンボルとして捉えると、エネルギー革命が今風に言うとパラダイムシフトになる。産業革命の黎明期、覇権国イギリスを中心に世界は回っている、そうした時代19世紀初頭、將軍家斉治世の外交術はヨーロッパの市民革命の思潮から大きく乖離していると言わざるを得ない。明治期の指導層は、良くも悪くも、近代化という文明の規範に遅ればせながら参入できたのは西欧の植民地政策を回避した点では評価にあたいするのか。(IK生)

◇春の総会らしく皆がそろって良かった。松岡委員長の話もとても良かった。教職員の病休の多さ、教員不足の中で組合が団結してたたかうことの大切さ。一人一人が声をあげ、参院選に取り組むということ。/ 北村さんの研究は毎回すごいと思う。自分の足を使ってどこまでも追及する。今回の研究も、私は北村さんの見解に賛成だ。東勝院の馬上才の絵で白隠は、国書偽造事件の危機を乗り切った伯坊主(規伯玄方)と徳川(家光)幕府が農民にたくさんの幸をもたらしたとほめていたと思った。白隠は流罪(奥州南部藩)になった伯坊主のことも、去った峠を通る旅人や朝鮮通信使にかたりかけているのではないか。/ 寺田会長が最後に退教協をもっとも組織的に強くしようと締めてくれた。良いスタートを切れたと思う。(K・Y)

<2月の第2回地区代表者会・紙上表決の結果です>

◆2月・代表者会の議案と清庵退の意見は『たより』184号(4・1発行)で連絡。その表決の結果です。簡潔に報告します。

- 1)、議案1:21年度活動の総括の件、
 議案2:県交流の旅の件、
 議案3:参院選で古賀さんを!
 議案4:22年度の役員の件、
- について、各地区とも賛成。
 賀茂、田方、東豆、三島、沼津、駿東、富士、清庵、静岡、志太、榛原、小笠、磐周、浜松、浜名。
- 2)、意見は清庵:『アメリカとともに戦争する国』づくりの動きに反対するために声を上げ、行動していきましょう。以上。

2022年度総会議案から～今年度の活動予定— (P.3:「総会議案のつき」)

◆清庵退の活動予定。

	(静岡県退)	(全国・日退教)
・4月、総会、		
・5月、		
・6月、・学習会。	・総会、	・総会、
・7月、		
・8月、		
・9月、夏の集い、		
・10月、星を見る会。		・日退教・関東ブロック活動交流集会、
・11月、秋の集い、	・交流の旅(西部担当)	
・12月、		
・1月、新年の集い		
・2月、		
・3月、加入のお誘い、		

◆◆具体的には。

- ・事務局で企画・運営を進めます。月1回程度。
- ・今年度の事務局一代表:黒田昭八、山田勝洋、曲淵 勤、(繁田博道)、
- ・季節に1度ほど皆で集り、親睦交流・学習などを行います(例会)。
- ・年会費:年間2000円。

5・3憲法記念日講演会(静岡シズウエル)に参加して

「平和の『守り方』と『創り方』～日本国憲法の構想力」

水島朝穂さん(早稲田大学)

久々の憲法記念日の講演会だった。以前行われていた午前中の集会・デモはなかった。会場は自治労・静教組などの労組員も多く、ほぼ満席で200人ほどの参加でした。

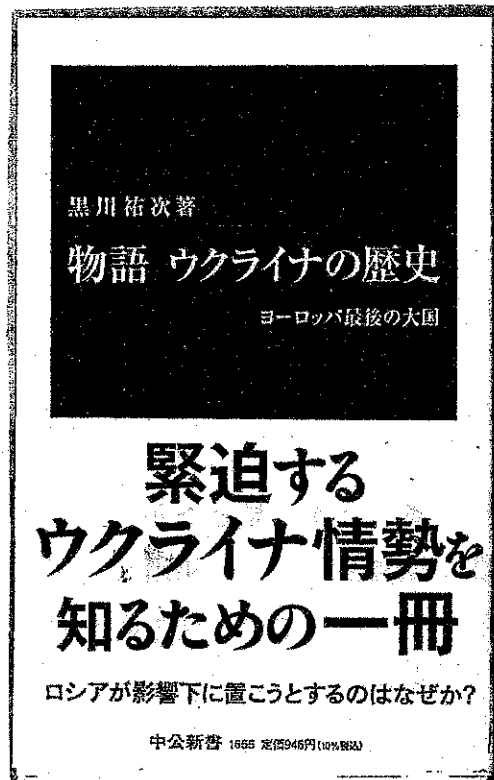
静教組中執の福代さんの司会で開会、しずおか憲法を擁護し実現する会会長の挨拶、高校生平和大使の訴えなどがあって、改憲阻止の雰囲気高めながら、水島さんの講演に入りました。

水島さんは、「プーチンの帽子」やら「何とかの弾の薬莖」とか、見せながら早口で、ロシア・プーチンのウクライナ侵攻、その無差別攻撃の残虐さ、これを利用した国内の防衛力強化や改憲の動きが増していることなど、どんどん話します。聞き取りにくく理解するのが大変でした。特に印象に残ったのは、最後の方の立憲主義についての話です。憲法を守るべきなのは国民ではなく国家権力なのだ、ということ、条文を読み強調していました。帰ってから読み返してみました。

- ・ 憲法前文：政府の行為による戦争の放棄、国民主権の宣言ということ。
- ・ 第97条：基本的人権は、人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果、過去幾多の試練に堪え、侵すことのできない永久の権利として信託されたもの。
- ・ 第98条：この憲法は、国の最高法規、これに反する法律、命令、詔勅及び国務に関するその他の行為の全部又は一部は無効ということ。
- ・ 第99条：「天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負う。」

水島さんのお話を聞いて残念に思ったことは、憲法の見方考え方のことよりも、今現に進められている動きについて話してもらいたかったことです。南西諸島を初めとする日本全土の軍事基地の強化、軍備の増強とくりかえされる軍事演習、日米軍事同盟が強化・拡大されてきていること、そして改憲の動きも急など、具体的に、そして総合的に展開してほしい。すでに新聞・テレビはこれら「アメリカとともに戦争できる国」づくりの動きについて、総合的にきちんと報道しなくなってきている中で、私たちの危機感も薄くなってきているように思います。コロナ禍で労組も対面の論議や集会・デモなどができないで困っている状況の中では、せつかくの機会だから、もったいないと思いました。(黒田)

『物語 ウクライナの歴史』を読んで。



ロシア・プーチンのウクライナ侵略は全く許しがたいことだが、なぜ侵略したのか、「大ロシア主義」とはどういう考えか。知らないことが多いので、買って読んでみました。驚くと同時に深く反省させられました。

1)、プーチンはスターリンの「大ロシア主義」の考えを支持しているということ。

その歴史を見ると、ウクライナはロシア帝国やポーランドなどに支配されることが多く、独立国であることは少なかったという。話は1919年10月のロシア革命にまでさかのぼります。革命によってロシア・ソヴィエト共和国、ウクライナ・ソヴィエト共和国がつけられたが、レーニンはまず自治州や共和国の自主・独立を認めた上で、ゆっくりアジアヨーロッパ・ソヴィエト連邦をつくっていく考えであったという。ソヴィエト（労働者・農民・兵士の評議会）を土台にして政府。労働者階級が中心に、国際的に団結して革命を起こし労働者の国を創っていくプロレタリア・インターナショナルの考えで、マルクス・エンゲルスの考えでもあったという。

だが、ドイツをはじめとするヨーロッパ革命が実現せず、ロシア革命が孤立する中で、スターリンはロシアを中心とするソヴィエト連邦を早々につくろうとした。病床にあったレーニンはそれに反対し、強権的になってきた書記長スターリンを解任するための書簡を記したが実現できずに病死した、1924年。

権力を握ったスターリンは「一国社会主義」の道を突き進んだ。トロツキーなど反

対する同志を排除・虐殺して。スターリンは自身グルジア人ながら、ロシア中心の中央集権主義者でかねてから民族の自治拡大に反対であった。ブーチンはそのスターリンの考えを支持しているという。「ロシア・ウクライナ・ベラルーシを一つにする大ロシア主義」という考えだ！

2)、スターリンは1930年、ウクライナで農業の集団化を強権的に進めた。

農業の集団化とは、これまで自分の土地を耕して自活していた農民を国営農場（ソフホーズ）または集団農場（コルホーズ）の入れてその一員にすることである。農民を土地から切り離し、農業の労働者が賃金労働者に変えてしまうことで、農民は抵抗した。たとえば自分の家畜を食用にするなり売るなど。1928～32年の間にウクライナは家畜の半分を失った。しかし、党・政府はあらゆる手段を使って集団化を進めた。抵抗する者や豊かな農民に対しては徹底的に弾圧した。逮捕し、処刑やシベリア送りにして。ウクライナでは1935年には91,3%が集団化された。集団化はスターリンと党の支配の永続化には寄与したかもしれないが、ウクライナにとっては惨憺たる結果をもたらした。それが1932～33年の大飢饉である。

3)、1932～33年、穀倉地帯のウクライナは大飢饉で数百万人が餓死した。



大飢饉に苦しむ人々。

1931、32、33年、ウクライナは凶作だった。凶作になっても、政府は穀倉地帯の農民から作物を強制的に供出させた。五か年計画の重工業化を急いだスターリンはその資金をつくるために穀物を輸出して外貨を得ようとしたのだ。そのため多くの農民は食料不足で、餓死者が続出した、350万人とか。ついには人肉にまで手を出したという。だから、ウクライナにはスターリンに憎しみを持つ農民は多いそうだ。

◆農業の集団化について、上のようなことを私は知らなかった。現職の時、中学社会科の授業で私は、農業の集団化を理想的なことのように、ロシアやウクライナの農民たちは希望に燃えて集団化に協力していったように教えてきた。中国の人民公社についてもそうだ。ウソを教えたのだ！ 子どもの頃、国民学校で軍国主義教育を受けた私は、授業は下手でもウソだけは教えまいと誓っていたのだが。深くお詫びしたい。そして、スターリン、ソ連邦、一国社会主義のことなどについて、今後さらに追究していくことにしたい。 (黒田)

◆自民党改憲案

- ・9条（戦力・交戦権の放棄）の破棄。
自衛隊の保持を明記する。
- ・緊急事態の条項を入れる、など。
- ・衆院で改憲派議員が2/3以上に。

◆2021・10・6、芳野友子氏連合会長に。

- ・芳野会長が政府の「新しい資本主義を
実現する会議」の委員になる。
- ・衆院選で立民党と共産党との連携を批判。
- ・自民の麻生副総裁や小淵優子組織運動
本部長らと会食。（2・7、3・16）

憲法改正の主役は、
あなたです。



・自民党の「人生100年時代戦略
本部」の会合後、記者団の質問に
答える連合の芳野友子会長（中央）
|| 東京都千代田区と同党本部で4
月18日、竹内幹撮影

これでよいのだろうか！

（5・4、毎日新聞：『労働分断』）

■お知らせ■

- 1、県退教よりウクライナに対する支援カンパの要請がありました。取り急ぎ、特別会計より、2万円を送ることにしたいと思います。皆様には「6月の集い」の折などにお願ひすることにして。ご了解ください。
- 2、長寿会員の表彰について。該当者は昭和19年~20年3月31日生まれの方です。ご連絡ください。
- 3、「古賀ちかげ後援会カード」、事務局・黒田まで。よろしくお願ひします。

➤ 〒424-0876 清水区馬走北5-17-908、

第28回「日退教組織活動交流集会」(2022年10月14日)

レポート

第1分科・分散会 「平和・組織」

⑤ 「『佐渡金山』の世界遺産登録を巡って」

木村昭雄 (新潟高退)

第27回日退教組織活動交流集会

「佐渡島の金山」の世界遺産登録をめぐって

新潟県高等学校退職者の会 木村昭雄

1：はじめに

『佐渡島の金山』世界遺産推薦の世論調査

「適切であった」：全国 73%、甲信越 94%

2：遺産登録の「対象年代」

■新潟県・佐渡市「佐渡金銀山だより」(2022・3)

『「佐渡島」の金山は16世紀後末～19世紀半ば（戦国時代末～江戸時代）にかけて、豊かな金鉱山の島・佐渡において、徳川幕府の管理・運営の下、いわゆる鎖国成策によって技術交流が限られる中、ヨーロッパとは異なるシステムとして発展を遂げ、世界に誇る量と質の金を生産した伝統的手工業による大規模かつ長期にわたり永続した金生産システムを示す稀有な産業遺産である。』

■「新潟県ホームページ」(令和3年3月11年更新)

「佐渡差の推薦は世界遺産の対象年代を江戸時代と区切っていない。(略) 普遍的な価値の評価を江戸時代に区切って述べているだけである」

■高市早苗 (『WILL』(2022年4月号))

「江戸時代に独自性を持って発展した。戦時中とは全く関係ありません」

3：朝鮮人労働者の「強制連行」、「強制労働」

「歴史認識問題研究会」の認識

- 朝鮮人労働者の日本での労働は「自分の意思による個別渡航」・
「募集」による応募者が殺到
- 日本人と同等の扱い
- 「官斡旋」、「徴用」による戦時動員は「合法的」

4：おわりに

歴史修正主義が増幅する中で、歴史の光と陰

- 「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」(1972年)
- 「ユネスコ憲章 前文」
「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」

内務省各種報告書

外務省外交史料館所蔵外務省記録「本邦内政関係雑件・植民地関係」(分類番号 A.5.0.0.1 - 1)に戦争末期の各種報告書・意見書(内務省管理局のファイル6冊)

(1) 内務省嘱托小啓奏用「復命書」1944年7月31日付管理局長あて「朝鮮民情動向並行政ノ状況」に関して朝鮮各地で調査。
 「第一總行政ノ実情」
 「食糧ヲ主トシ其ノ他數十種ニ及ブ農林畜産物ノ供出」「貯金及献金乃至賦納」「勞務ノ供出」「志願兵」「徴兵制度」「特殊鉱工物増産」「義務教育実施ト教育整備」
 「此ノ供出令ハ文字通り至上命令トサレ供出ノ完遂ハ勸奨ヨリモ強圧強権ヲ加ヘテ強ヒラレル場合ガ極メテ多イ状態デアアル」(中略)「從ツテ農業者ニシテ尙朝飯夕納ハ良イ方ゾ多クハ糊口ニ苦シム自己ノ生産物ハ全部供出ニ献ゲ自分ノ大豆、小豆ノ葉ヤ草根本皮エテ辛ジテ延命シ願ハ腫レ注リ正ニ生不如死ノ惨状ヲ呈シ空腹ノ為メ餓ノ事モ出来ズ寝テ居ル者モ尠クナイ状態デアアル」(中略)「供出僱助者ハ農家ノ農具ヲ農圃ヲ搜索シ炊事時ニ不意打的ニ踏ミ込ミ炊事釜ヤ食物ヲ検査シ暴テハ面、駐在所等ニ呼出シテ迅(ツ)問スル等金々朝鮮テナクテハ見ルコトノ出来ナイ奇異ナル現象ヲ彼所此所ニ露出シテ居ル」

「内地移住勞務者送回家庭ノ実情」
 「國家ノ至上命令ニ依ツテ無理ニテモ内地ヘ送り出サナクレバナライ今日デアアル。然ラバ無理ヲ押シテ内地ヘ送出サレタ朝鮮人勞務者ノ残留家庭ノ実情ハ果シテ如何デアラウカ、一言ヲ以テ之レヲ言フナラバ實ニ慘憺目ニ余ルモツガアルト云ツテモ過言ヲハナイ。蓋シ朝鮮人勞務者ノ内地送出自ノ実情ニ當ツテノ人間的掠奪的拉致等ガ朝鮮民情ニ及ボス悪影響モサルコト年々露出即チ彼等ノ家計收入ノ停止ヲ意味スル場合ガ極メテ多イ様デアアル」(中略)「以上ヲ要スルニ送出ハ彼等家計收入ノ停止トシテ其ノ作樂契約期間ノ更新等ニ依リ長期ニ亘ルキハ破滅ヲ招来スル者ガ極メテ多イデアアル。音信不通、突然ナル死因不明ノ死亡電報等ニ至リテハ其ノ家庭ニ對シテ眞實ニ知ラナイ極氣ノ毒ナ状態デアアル。然シ彼等残留家族ハ家計ト生活ニ苦シム乍ラ二日モ早ク帰還スルコトヲ待チアザンデ居ル状態デアアル」(逃亡防止策トシテノ貯金ノ半強制的實施及抽出ノ事業上ノ禁止)

「動員ノ実情」
 「徴用ハ別トシテ其ノ他如何ナル方式ニ依ルモ出動ハ金ク拉致同様ナ状態デアアル。其レハ悉シテ前ニ於テ之ヲ知ラセバ皆逃亡スルカラデアアル。ソコデ夜襲、誘出、其ノ他各種ノ方策ヲ講ジテ人間的掠奪的拉致ノ事例ガ多クナルデアアル。何故ニ事前ニ知ラセレバ彼等ハ逃亡スルカ、要スルニシテ之ニハ彼等ヲ精神的に慰ケル何物モナカッタコトカラ生ズルモノト思ハレル。内鮮ヲ通ジテ勞務管理ノ拙悪極マルコトハ往々ニシテ彼等ノ身心ヲ破壊スルコトノミナラズ残留家族ノ生活困難乃至破滅ガ度々アツタカラデアアル」

(2) 内務省矢野平馬の「復命書」1944年2月
 「内地(九州地方)在住朝鮮人の実状調査」
 九州の炭坑坑内に「朝鮮独立」と書いた者があつたこと。

(3) 権藤嘉郎の報告書 1944年10月
 大阪・山口・福岡方面の、特に炭坑方面に出張。
 日本人の朝鮮人に対する差別感が激しいこと、炭坑労働者の逃亡・移動が多いこと(生活環境の悪さ、食糧不足、外敵の誘惑などに由来)。
 改善策として労働係担当者に朝鮮人を配座すること。
 「現在逃亡ノ防止策トシテ従来ノ木柵ノ代リニ人柵ヲ廻ラセテキルト感ゼラル程多数配座シテキル内地人補助者ノ代リニ小數ノ半島出身者ヲ以テ足リ」

(4) 村山私案「朝鮮人皇民化基本方策」1944年1月28日(内閣参事官村山道雄)
 「戦時下朝鮮人ニ對シテ徴兵ノ實施ト戦力増強ノ要員トシテ朝鮮人ノ大量内地移入トヲ必要トスル現事態ニ鑑ミ朝鮮人ニ對シテ政府ノ施策ヲ内外地ヲ通ジテ左記方針ノ下ニ統一強化シ以テ朝鮮人ノ皇民意識ヲ一層昂揚シ其ノ總力ヲ戦争完遂ニ結集セシメントス」
 六「内地移入勞務者対策」
 1「勞務管理ノ刷新」
 「ニ、朝鮮人勞務者ニ對スル逃亡防止ノ為ノ因人的取扱、訓戒ノ為ノ衆視中ニ於ケル制裁特ニ嚴打ハ極力之ヲ避クルコト」

(5) 「朝鮮及台湾同胞ニ對スル処遇改善要綱(案)」1944年10月25日付内務省作成(?)「四、勞務管理ノ改善」
 「(5) 逃走防止ノ為ニシテ因人的取扱、衆視中ニ於ケル制裁ノ如キヲ嚴禁スルコト」

浄土卓也『残された「労働者募集日誌」—三菱鉱業直島製錬所』

【第一次】(一九四〇・三・六)三・二十七
 三月七日(木) 晴
 直島一帯は、直上ト電報入り。いづれ製鋼所の労働者、課長と打ち合わせ。釜山市内の慶尚南道庁に赴き、関係者にあいさつ。さらに庁内の警察課にもあいさつ。
 夜、ようやく旅館入り。
 三月八日(金) 晴
 課長と再び道庁を訪れるも「募集」の許可の返答がまだきていず、落胆。夜、旅館に帰ると許可があつたという電報で、「万歳万歳叫び」。
 三月九日(土) 晴
 道庁社会課を訪れ、募集許可証の交付を依頼。いろいろ便宜を願つてもらつたために道庁職員二名を旅館に招待し、「大イニサッ」で。午後十一時半頃同氏はようやく自動車で帰る。
 三月十一日(月) 曇後晴
 朝、予定通りNさん(製錬所職員)らが釜山着。いよいよ本日より「募集」地へ。その前に道庁保安課と社会課を訪れ必要書類を提出。警察部長にもあいさつし、警察署長宛の紹介状をもらう。夜遅く直島に着き、労働者旅館に入る。
 三月十四日(木) 晴後曇
 当地の警察署をさっそく訪問するも担当者が出張中であらう。翌日も同じ。
 警察署を訪れ、太田部長も同行してくれ道庁を訪問。李主事に面会。「面割当員数及設備」日ヲ決メテ貰フ。
 三月ノウチ「三面を除き」(嘉礼)〇・龍徳六・華井三・澄西一〇・富林九・鳳樹七・柳谷一五・正谷五・芝正五・宮柳一〇計八〇トシ、各々の證衛日を決定。「警察」連名通牒ニテ各面ニ通達ノ手配」もしてくられた。
 「カクテ時刻、警察側原所長、太田部長、郡郡守、李主事、林農政課長ヲ招待シ芳原ノスペシャルサービステテ大イニ胸襟ヲ開ク」
 三月十八日(月) 晴
 各面より集められた朝鮮人一六名の採用を決定し、郡庁會前で写真どりを済ませ、弁当金を支給して、二十五日正午に出発することを約束された。

最 高	月 收 三 二 一、〇 三 (稼働廿八日)	四 月 分 貯 金 六 〇、〇 〇	四 月 分 送 金 一 〇、〇 〇
最 低	全 空 六、七 五 (全二日)	四、〇 〇	一 〇、〇 〇
平 均	全 空 八 〇、五 六 西 三 七 四 四、二 〇	五、五 六	一 四、六 〇
總 額	全 空 八 〇、五 六 西 三 七 四 四、二 〇	三 二 六 四、二 〇	八 五 六 五、〇 〇

賃 金、貯 金、送 金 状 況 (昭 和 十 八 年)

平 島 人	123	56	294	8	49	3	21	19	71	584
丙 地 人	39	80	14	19	17	23	46	85	52	321
丙 地 人 二 對 比	4.5	1.4	3.6	0.4	2.8	0.13	0.46	0.22	0.21	482

(第 三 表)

註 (一) 丙 地 外 夫ノ稼働率、稼働率ノ除ケル實員ノ稼働狀況ヲ示
現在員欄中上記セルニ在籍ヲ示シ本記セルニ在籍ヲ除ケル實員ノ稼働狀況ヲ示ス

宿 舍 別	山ノ御社宅	第一 寮	第三 寮	第四 寮	其他	計
現 在 員	117	185	157	124	1	584
稼 働 率	83%	93.1%	87.3%	95.1%		84.5%

宿 舍 別 及 稼 働 率

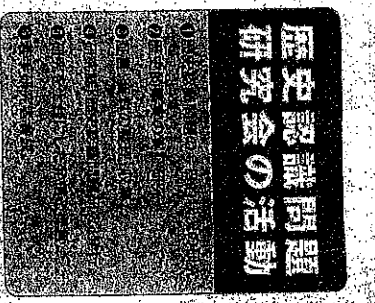
五 月 末 現 在

移 入	一 五 二	一 五 五	一 六 六	一 六 〇	一 七 一	計
移 入 又 入 別 道 出身	輪 島 山 南	公 扶 輪 州 山	扶 輪 山	扶 輪 山	青 山 陽	曹 陽
移 入 期 間	3 年	3'	3'	2'	2'	2'
減 員	14	46	51	19	12	6
減 員 種 別	逃 走	公 傷	私 症	送 還	送 還	送 還
減 員 數	8	2	6	10	2	2
現 在 員 數	98	248	300	153	127	1005
現 在 員 數	64	134	93	70	106	584

移 入 數 及 減 員 數

五 月 末 日 現 在

意見広告 佐渡金山の世界遺産登録、歴史的事実に基づく反論を！



歴史認識問題研究会は、佐渡金山の歴史をめぐって、様々な反論を提起し、歴史の真相を明らかにすることを目的として活動している。佐渡金山は、1996年にユネスコの世界遺産に登録されたが、その登録は、歴史的な事実を無視したものである。研究会は、佐渡金山の歴史をめぐって、様々な反論を提起し、歴史の真相を明らかにすることを目的として活動している。

佐渡金山は、1996年にユネスコの世界遺産に登録されたが、その登録は、歴史的な事実を無視したものである。研究会は、佐渡金山の歴史をめぐって、様々な反論を提起し、歴史の真相を明らかにすることを目的として活動している。

佐渡金山は、1996年にユネスコの世界遺産に登録されたが、その登録は、歴史的な事実を無視したものである。研究会は、佐渡金山の歴史をめぐって、様々な反論を提起し、歴史の真相を明らかにすることを目的として活動している。

歴史認識問題研究会 事務局 〒527-0065 千葉県柏市光が丘2丁目1番1号
TEL.04-7173-3197 FAX.04-7173-3197 E-MAIL: info@hankai.org

「新潟日報」(2022.2.3)

意見広告 佐渡金山は朝鮮人強制労働の現場ではない、事実に基づく反論を！

朝鮮人強制労働問題は、歴史認識問題研究会が、佐渡金山の歴史をめぐって、様々な反論を提起し、歴史の真相を明らかにすることを目的として活動している。佐渡金山は、1996年にユネスコの世界遺産に登録されたが、その登録は、歴史的な事実を無視したものである。研究会は、佐渡金山の歴史をめぐって、様々な反論を提起し、歴史の真相を明らかにすることを目的として活動している。

佐渡金山は、1996年にユネスコの世界遺産に登録されたが、その登録は、歴史的な事実を無視したものである。研究会は、佐渡金山の歴史をめぐって、様々な反論を提起し、歴史の真相を明らかにすることを目的として活動している。

佐渡金山は、1996年にユネスコの世界遺産に登録されたが、その登録は、歴史的な事実を無視したものである。研究会は、佐渡金山の歴史をめぐって、様々な反論を提起し、歴史の真相を明らかにすることを目的として活動している。

歴史認識問題研究会 事務局 〒527-0065 千葉県柏市光が丘2丁目1番1号
TEL.04-7173-3197 FAX.04-7173-3197 E-MAIL: info@hankai.org

会長/西岡力 副会長/高橋史朗 江崎通明 ステイブメンバー 岡崎剛/伊藤隆 櫻井とし 田中英道 渡辺利夫
副役員/伊藤道夫 勝岡英次 島田洋一 長谷部介

第28回「日退教組織活動交流集会」(2022年10月14日)

レポート

第1分科・分散会 「平和・組織」

⑥ 「滋賀県退職教職員会の活動について」

大塚清高 (滋賀県退)

滋賀県退職教職員会の活動について

滋退教事務局長 大塚 清高

自己紹介

1. わたしが、なぜ事務局長を引き受けたのか

これから取り組んでいこうと考えている案です。

2. 滋賀県教組を支えるために

- ・一声かけ運動
- ・県教組執行部と協議して、新たな取り組みを

3. 滋退教の加入拡大のために

- ・支部役員を中心に、未加入者の声かけを(友達のとモダチ作戦)
- ・滋退教通信の刷新を(取り組み始めました)
費用をかけても、公平に全員に会費の還元ができる物だから
- ・総会の議案書を送り、意見を求める。
受取人払いの葉書を同封し、参加確認と意見を書いてもらう。

4. 経費節減のために

- ・役員会は、役員会ライングループを作り、会議の連絡をする。会議資料や検討事項を写真やPDFで送り、確認してもらう
- ・幹事会も可能な限り幹事会ライングループに参加してもらい連絡する。困難な場合は、葉書で連絡する。携帯番号を登録してもらい、ショートメールを活用する。
- ・通信等を、メールで受け取ってもいい人には、メールで送信する。

部員の準備は一日前!

2022年10月25日(火)

10:15集合 14:45解散
マキノピクニックランドにて
(高島市マキノ町)

おおまかな日程

- 10:15 集合
- なみき食堂つばめ前
- 10:30 リンゴ狩り
- 12:00 昼食
- 13:00 グランドゴルフ
- または、自由行動
- 14:30 閉会行事
- 14:45 解散

帰り	
高島コトニエマックス	時計回り
15:06 マキノ駅	マキノ
15:39 JR. 湖西線新快速	敦賀行
15:51 JR. 湖西線新快速	マキノ
16:01 近江塩津着	
16:06 近江塩津発	
または	
JR. 湖西線新快速	姫路行
15:50 マキノ発	

行き	
JR. 湖西線新快速	姫路行
8:21 草津	
8:50 彦根	
9:23 近江塩津	
JR. 湖西線新快速	敦賀行
9:33 マキノ着	
また、	
JR. 湖西線新快速	山科
8:28 マキノ着	
9:26 高島コトニエマックス	高島線
時計回り	
10:00	マキノ駅

参加申し込み
同封のはがきに必要事項を記入の上、我園ぐさいずの参加者数を報告し、お返すまでの項目にお答えください。
締め切り
10月16日(日)必着

参加費
リンゴ狩り(60分食べ放題、6個お土産付) 1500円
グランドゴルフ(18ホール・道具無料貸し出し) 600円
昼食(なみき食堂つばめ)近江の恵み「びわわ」膳 2200円
(団体席の料理は、びわわ膳しがありませんので高額になります)
交通費として、高島支部の方は、500円。
他支部の方は1000円を補助します。



SHITAIKYO

滋養退教

2022年 9月15日

- 役員紹介・あいさつ P.3
- お願い P.6・7
- 日政連議員より P.4・5
- 会章改訂 P.8・9

発・行 所 大津市梅林1-4-151
滋養退教職員協議会
TEL: 077-523-1706
FAX: 077-525-1885
メールアドレス: shitaikyo2020@gmail.com
発行責任者 大谷 和雄



今年、学校では P.10
1992年大塚アールパークより

どうなる教育会館!

大谷 和雄

教育会館の明け渡し訴訟は、5月19日大阪高裁で会館側の訴えが認められず敗訴しました。会館側は理事会を開いて通告することと決定し、弁護士と相談しながら上告理由書を作成し最高裁に提出しました。

この裁判の争点は、会館側が県から借りている土地が行政財産(県庁、県道など)か、普通財産(行政財産以外のすべての県有地)かということです。県は行政財産だと主張、会館側は普通財産だと主張しています。行政財産なら、何らの補償もなしに立ち退かなければなりません。普通財産なら、立ち退きにかかる費用を請求できます。

県は明治時代に土地を購入した時点(県庁として利用するつもりで、その後地方自治法が改正されて行政財産と普通財産が分けられてからは、行政財産として区分してきてきたと主張しています)。「財団法人教育会館」に貸されておられ、戦前は教育会と神職会に貸されており、戦後は教職員組合、それから「財団法人教育会館」に貸されており、一度も行政財産としての利用実績がないこと、会館側が立ち退いたあととは普通財産として民間への売却もしくは買手が予定されていることから行政財産とは言いえないと主張しています。

最高裁が審理するのは、法律の適用や解釈に間違いがないかどうかだけです。9月5日に最高裁から、上告理由書を受け取ったという通知がありました。高裁まで負けた裁判が最高裁で逆転勝訴するのはきわめてまれなことだと言われます。高裁の判断が覆る場合は最高裁から連絡があるということですが、いつ判断が下されるかわからないところまで来ています。上告棄却になった場合、棄却という通知があるだけでその理由などは知らされないというものです。

いずれにしても最終結論は近く、最高裁の判断には従わざるを得ませんが、滋賀の教育の拠点を守る取り組みは続きます。県教組と校長会、教育会の三者はどのような判断が出ても協力して取り組んでいくことを確認しています。

会員の皆様にはご理解ご支援をお願いします。

編集後記

今回全面的にリニューアルした『滋賀教通信』いかがでしょうか?

早期退職して、47歳から10年間甲賀支部の書記をしていただきました。現役組合員のときは足踏み入られたこともない県本部の方たちと親しくさせてください。県幹事になればまた、お会いできるかなという軽い気持ちでお引き受けしたから広報委員もついでにきました。

8月3日初めての広報会議、クローラーの効かない教育会館の2階の部屋より熱い?大塚新事務長の思いを聞いて、新しい紙面を作るのが楽しみではなく、1人ではできないことも仲間の手で頑張ろうなんて言うお気楽なお付き合い組合員だったので、滋賀教新聞は、組合として

の取り組みや政治・歴史問題だけでなく、退職後の生活を潤し、充実した毎日のため、会員の取組みのための紙面にもなってほしいと思います。

そういうものになったのでは、ないでしょうか?

次回には、会員の皆さんからの投稿が多く寄せられることを願っています。

最後になりましたが、お忙しい中原稿を寄せていただいた多くの方々にお礼を申し上げます。

松本 佐知子

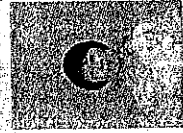


大谷 和雄

5月の総会で清水明美会長からバトンを受け取りました。交流や情報交換の場として、また子どもたちや教職員のみならずの方にもなるよう、県教組と連携しながら活動していきたいと思っております。よろしくお祈りいたします。

一昨年、ある中学生の保護者から「学校に何一切期待していません。子どもはフリースクールに行かせます」と言われました。学校を回遊するのは必須なことですが、同時に、今の学校のあり方も問い直すべきだと思います。学校の息苦しく感じる子どもが一人でもいなくなるまで、そのことを解決しなければなりません。「すべての子どものために」を大切にしながら、今思っています。

副会長



川瀬美智子

5月の総会で滋賀教の副会長に就任しました川瀬です。滋賀県教組を卒業して4年半。今も近畿労金の役員として働いています。十分なことではできませんが、時間的に余裕のある私たちが忙しい現職の先生たちを少しでもサポートすることができたらと考えています。もちろん退職者同志の交流を深め、いつまでも元気なアクティブな毎日を送られたら嬉しいです。

「世紀を生き抜いた人々を示す「センテナリアン」が日本で急増しているそうです。110歳以上の「スーパーセンテナリアン」と呼ばれる人々を研究した報告書によると、「健康長寿の人は決められたことを守る」「誠実性」や人との関わりが大切だ。新しいものに興味を持って「開放性」が高いと、一歩がでることを持っています。「病気をしないだけでなく、クテボブに地域と関わるのが大切」とのこと。滋賀教の活動に生かしていきたいと思っております。

副会長



清水 遼久

「5/27 滋賀教総会」におきまして、副会長に選出されました。私の地元では、早くから本会の下に「甲賀支部」が組織され、活動されており、関係から、支部代表が本会の重責に加わらせて頂いている?経緯もあり、「崇実会長」丸、「明美会長」丸から今度は「大谷和雄会長」丸に乗せて頂いて新たに船出を致すことになりました。

このコロナ禍、私たちの日常生活はもろに不安に陥れている今日この頃、加えて課題が山積している今日の社会・政治情勢の中で、私達のささやかな願いである。「生きていく長がかった、幸せや!」と想える社会の実現に向けて、微力ではありますが、本会のみなさま方のご支援、ご協力を頂きながら、さらに会員間の交流も深め、魅力ある活動に努めるべく、また足腰の強い組織づくりに向けて力を傾注してまいります。ご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。今後とも、ご挨拶とご挨拶を賜りますようお願い申し上げます。

あなただけの「おもしろい」

坂本在住15年、坂本小学校勤務8年の大塚がご案内します。

坂本で有名なのは、

- ・日吉大社(全国に約3,800社ある日吉・日枝・山王神社の総本社)
 - ・延暦寺(住所は坂本本町4220で坂本学区です)
 - ・西教寺(明智一旗の墓があります)
 - ・本家鶴喜そば(鶴喜そばチェーン店では、唯一手打ちそばが食べられます)
- などが有名ですが、滋賀院門跡など、多くの神社仏閣があります。地図の戸のところが、「大宮川観光駐車場」。坂本では、数少ない無料駐車場です。

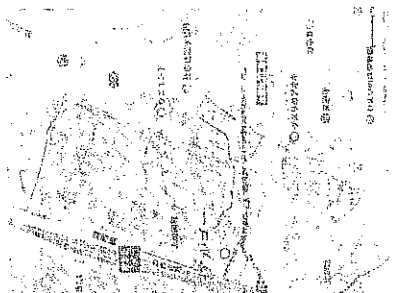
「大宮川観光駐車場」から地図の下の方に50mほど歩くと右に上っていく道があります。この道から日吉大社には入れます。入り口には受付があり、入苑協賛料300円はしつかり取られます。この入り口そばには、東本堂があります。

この受付の手前に右に入る道があり(赤い線)静かな道を歩いて西教寺に行けます

日吉大社を通り抜け、鳥居のある受付から出ると、比叡出坂本ケープル乗り場のすぐ近くです。このケープルを利用すると、延暦寺に行けます。往復で1660円がかかります。

昼食のおすすすめは、フレンチレストラン「アルゴ」です。ランチコースは、税込み2200円で本格的フランス料理が食べられます。前菜・スープ・サラダ・メイン・デザート・コーヒーがつきます。メイン料理は、牛肉、鳥肉、魚肉のメニューが20種類以上あり、好きな物を選べます。アイヨンやソースなどもすべて手作りです。

シエフの特技が、一緒に行ったメンバーの料理を同時に仕上げることです。シエフ一人で調理をやっておられるので、びっくりです。満席で、予約なしでは断られることもあります。(TEL077-579-4500)



このコナーは、地元の人しか知らない、景色や雰囲気のいいところ、安くておいしい食事処などを紹介するものです。

琵琶湖三揚子江

唐澤に穴太庵寺と書われるものが、遊跡公園として整備が進んでいます。京都の有名社寺にも真似ない寺だっただろうです。平安京を造営したとされる大連が、ここに住み始めたののために作った寺だと書われています。寺を作ったのは、ここから見る琵琶湖が、揚子江の景色に似ていたからに違いないです。揚子江は日本にありませんので本音がわかります。

日政連「古賀ちかげ」参議院議員が誕生!

滋賀県教職員組合 執行委員長 清原 勝

日ごろ滋退教会員の皆さまにおかれましては、滋賀県教組のあらゆる活動とさまざまな立場からお支えいただき深く感謝申し上げます。とりわけこのたびの参議院議員選挙では、日政連「なたにや正義」参議院議員の後継者である「古賀ちかげ」(日教組組織内、福岡県教組出身)「候補の当選に向けて多大なるご支援をいただき、見事にバントンを引き継ぐことができました。教育現場を経験している議員を一人でも多く増やすことが重要なことはいくらでもありません。来年4月の統一地方選に向けて日政連議員へのお力添えをよろしくお願いたします。

さて、学校現場では、長引く感染症対策に気を遣いながらも子どもたちのさまざまな活動を保障するために、教職員は日々奮闘しています。(学校によっては別紙で掲載しています)のでご参照ください)社会のめまぐるしい動きに対応すべく学校もここ数年大きく変化し、ICT教育の導入や研修の強化、多岐にわたる子ども、保護者への対応等に加え、講師不足による欠員問題が多岐にわたる学校で常態化し、教職員は多忙化を極めています。何よりも教職員が子どもたちといていねいに関わりながら、いつまでも元気に働き続けられるよう組合としても全力で運動を展開していきます。今後も滋退教会員の皆さまの叱咤激励をよろしくお願いたします。

顧問 清水 明美

子ども達に寄り添いつつ古賀ちかげ参議院議員当選

6月24日全国の仲間には滋賀県教育会館から古賀ちかげ候補応援のオンライン発信をしました。会場には応援するたくさんの人達と司会、進行する私も古賀さんの熱い思いを全国へ届けました。

7月10日見事に当選。学び、育ちゆく子ども達の希望をつなぎ教育現場を経験した議員の誕生は、力強いです。

24日の幹事会では、滋退教役員・幹事の交代が承認されました。顧問大林清先生、事務局長小坂淑子先生は退任されました。顧問されていた山森正先生は昨年退任されました。活動の継続に感謝しながらつなぐことができました。ありがとうございます。が一方では、

2月24日「ロシアのプーチン政権」がウクライナに侵攻してから6カ月余りが経ちます。テレビや新聞から流れるウクライナの惨状を見ると胸が締め付けられ痛みを覚えます。「もう止められんのか」と呻く日々です。

「心が乱れる今こそ、分かち合えよう」と胸を飛び越すのはなく儼然な現象の複雑さに眼を凝らし、心を落ち着かせて『学ぶ』事が重要ではないでしょうか。」と訴える本に出会い書きつけられるように読み返しています。

『中学生から知りたいウクライナのこと』 小山哲・藤原辰史著 ミシマ社

新聞・テレビ等現代の情報網から伝えられる情報を鵜呑みにせず、自分の頭で考え誰かと共有していくためのきっかけとなるように書かれた本です。

「小国を見直すことのない歴史の学び方を、今こそ。



事務局長 大塚清高

6年間、教職員共済会滋退事業所の所長をさせて頂いて、3月に退職をして、ほっとするまでもなく、5月の総会で、小坂事務局長の後をさせて頂くことになりました。偉大な先輩の後だと思つて、足が震えます。

58才で退職しましたが、連日忙しく働いていましたので、滋退教の役員はしませんでした。もちろん役員会にも出たことはありません。そのため、慣例になつていくことも知らず、役員の方にご迷惑をおかけすることもしばしばあります。でも、知らない強みで、いろいろな挑戦していきたく思います。そして、滋退教が、ますますみなさまにとって、身近で頼りがいのあるものになつていけばいいと思います。

私たちが若い頃、組合員みんなの力を合わせ、仲間を守り子どもたちを守るため、奮闘してきました。今、政治の圧力で教育が悪い方向にどんどんゆがめられているように感じます。その中で奮闘されている組合員の方を少しでも支えていける滋退教でありたいと思います。



2022年度滋退教役員一覧表

役職	氏名	氏名	氏名
会長	犬谷 和雄	滋退連 幹事	
副会長	清水 達久	日退教近畿ブロック女性代表	退女教会長
副会長	川瀬 美智子	滋退連副会長	全退連近プロ女性幹事
顧問	清水 明美		
幹事(湖西)	森 真次郎		
	山本 恵子		
	今井 文子		
幹事(湖南)	高木 洋司		
	西川 邦子		
	中野 佳子		
幹事(甲賀)	宮治 一幸	広報委員兼務	
	松本 佐知子		
幹事(湖1・2)	桂田 陽子	滋退連女性幹事・事務局長兼務	
	小杉 宗友		
幹事(湖北)	勝本 允		
	田邊 九三彦		
幹事(高島)	橋爪 眞全		
	河合 百輝		
	岩本 真知子		
	小川 まち江		
事務局長	大塚 清高		
事務局次長	栗本 いづみ	退女教事務局長	県教組女性部長
広報委員	佐藤 俊三		
	芝田 敏夫		
会計	上野 薫子		
監査	内海 早苗		
	湯口 昭子	日退教ジェンダー平等委員	

幹事(湖西) 森 真次郎 後期高齢者寸前、好きだった夏が応え退職して、でもバカな政治に怒り、厚顔無恥だった元首相の国葬には反対
幹事(湖西) 今井 文子 退職後、葡萄作りに専念する毎日でしたが、この度多くの坊と関わる機会を頂き新しい刺激を受けております。

幹事(湖西) 山本 恵子 退職して、13年気楽に気ままに元気にシニアライフを楽しんでいます。

幹事(湖南) 高木 洋司 50過ぎに糖尿病HbA1c8.9になり自力で克服。酒の飲み過ぎ食べ過ぎで再発。以来、歩き病で元氣回復6.2に

今、学校現場では!?



新型コロナウィルス感染症対策をしながら、子どもも教職員も制限の多い学校生活を強いられています。また、学校行事の中止や変更等にかかわる負担も大きくなっています。



GIGAスクール構想で一人一台タブレット端末が配布されました。それに伴って、タブレットの整備や活用のための研修等、教職員の負担が増加しています。



小学校高学年に「教科担任制」が導入されることになりました。担任の持ち時間や教材研究、の負担軽減等の良さもありますが、加配配置が少ない等、課題もあります。



小学校における高学年の英語必修化や特別の教科「道徳」の導入など、学校の教育課程がどんどん変化しています。



7月に教員免許更新制が廃止され、失効していた教員免許状も復活することになりました。代わって新研修制度が導入されることになりましたが、さまざまな問題点が指摘されています。



多様な働き方を求めて、定年引上げに関する交渉をしています。来年度から2年に1歳ずつ定年が引き上げられ、2032年には65歳が定年になります。

「ミスカマキリ」
湖一支部 桂田 陽子
プールが有っただけで、泳ぎなど一向に教わって記憶がない。勝手に水遊びをしていただけだったまうな気がする。夏休みには地区別に集合して、なんだかひどい建物(重構)で着替え、形ばかりの準備体操の後シャワーを浴びてプールに入る。塩素殺菌もなく緑の薬だらけの中で遊んだ。遊び疲れると上級生が休憩の声をかけてくれ上がらされプールサイドに寝そべった。誰かがプールの泳いでいるミスカマキリを捕まえて熱いコンクリートの上に置いて手で水分をはね飛ばしながら無でると羽を広げ翔んで行った。本当にそうだったかと今になって思うのだが確か翔んで行った。あの頃は夕ガムもゲンゴロウもタイコウチもプールの泳いでいた(ように思う)。汚いプール、否、なんでも魅力的なというしかない水源だった。今ゲンゴロウなんぞ高価で貴重で業者垂涎の代物であろう。

わたし、がんばっていきます

一般社団法人 このゆびとまれ 高島支部 水谷 平ノ松野 徳一
みなさん、この写真の場面をご覧になったことありませんか?
白鬚神社付近に設置されている飛び出し坊やです。その名も「じらひげくん」!(私たちが携わっている障がい者福祉事業所の利用者たちで、製作したものです)

私達は、2016年に仲間と一般社団法人「このゆびとまれ」を立ち上げ、自立訓練事業所「かけはし」そして生活介護事業所「からら」を開設しました。かけはしは「人との関わりや仕事などでストレスを取り戻していく場」であり、学校や自治会などから注文の将来を考え、心身ともに健康を維持できる場として支援を続けています。現在、利用者は20~50代の5名。前述した飛び出し坊やのデザインを考えた製作しています。8月には大津市立堅田小学校のイメーτζキキョクタ



一「かたこちやん」を納品することが出来ました。薪やヒノキのチップの商品化もしています。薪については、近隣の方から寄付いただいた間伐材を加工し、マキノ高原などで販売しています。更に、薪商品開発も進めています。現在、10店舗(喫茶店、理髪店、お好み焼き屋、旅館など)で商品を置かせてもらっています。利用者にとつて、お店訪問(商品の在庫管理のため)や多くのボランティアさんとの活動など、様々な出会いが自分を取り戻す大きなエネルギーとなっているようです。さらに、自分が作った物が喜ばれることで、次への意欲や自信につながっていると確信しています。

「障がいがあっても、自信を無くしたり困ったときはここにおいで」という思いで名付けた 干 520-1821
団体名。この思いを大切に利用者のため、充実・ 滋賀県高島市マキノ町沢1221-1
発展させていく所存です。どうか皆さんの大きなご TEL:0740-204208
支援を賜りますよう、よろしくお願ひします。また、 FAX:0740-204209
マキノにいられた折にはぜひひとも立ち寄ってくださ MAIL: kakehashi0135@zeus.eonet.ne.jp
い。皆さんの出会いを楽しみにしております。 HP: konoyubi.tomare.website

幹事 (湖南) 西川 邦子
戦争につながる歩みが加速している。「教え子を再び戦場に送るな」この誇り高い大スロ一ガンを改めて心に刻みたい。

幹事 (甲賀) 宮治 一幸
昨年の甲賀市議「福井進」誕生に際し、多岐にわたるご支援に改めて感謝。再選の力には日常の活動と心得。

幹事 (湖1・2) 桂田 陽子
退職後世の中を見る余裕ができた。その思いを語り合える人たちのつながりを得た。滋退教に感謝しています。

幹事 (湖北) 勝木 允
来年から傘を差して生活することになり、幅帯傘か唐傘かそれとも携帯便利な折りたたみにするか迷っています。

幹事 (高島) 橋爪 真全
今、我々の声が政治に届いているか? 生活に安全と安心があるか? だから、1歩を、1声を!

幹事 (高島) 岩本 真知子
教員になればあのスロ一ガンのもと組合に入る! 当たり前だと思っていた。今もこの通信を読み、ヨシと元気になる

事務局次長 栗本 いづみ
退女教事務局長をさせていただきます。滋賀教組女性部長の栗本いづみです。先輩方と関わらせていただいたことを嬉しく思っております。

広報委員 芝田 敏夫
退職して約20年、地域活動の老人生活に、日々悩んでいます。

会計監査 内海 早苗
今年の3月に退職をしました。関心はエンダー視点ある映画や本。

幹事 (湖南) 中野 佳子
身辺整理が追いつかず、必要な物がなかなか見つかりません。この秋にこそ、一言して自分を励まします。

幹事 (甲賀) 松本 佐知子
退職したから、もう組合はいいとおっしゃる方! コロナ禍の今こそ、人との繋がりの方が大事だと思いませんか?

幹事 (湖1・2) 小杉 宗久
暑い夏にもコロナにも負けずがんばっています。安部敬暉以降の政治の迷走に、呆れています。回群反対!

幹事 (湖北) 田邊 九二彦
今、湖北じんけんネットワークという人権ボランティアの活動を始めております。研修会の運営、講演講師、相談事業などです。

幹事 (高島) 河合 吉輝
『何も判らぬまま幹事を引き受け早2(3?)年』未だに出席できていません。まだそこそこ元気で結構忙しくしています。

幹事 (高島) 小川 まち江
微力ながら幹事をさせて頂いています。退職後も様々な現状を知り語り合う場があることを有難く思います。

広報委員 佐藤 俊三
退職して十数年、数多な講師の誘いを断り続け、今はマシオン管理組合の理事長をしております。

会計監査 上野 嘉子
滋退教の仲間の輪が少しでも広がり、共に活動して行ければと思います。



参議院議員

古賀 ちかげ

滋賀県退職教職員協議会の皆さん、こんばんは。古賀ちかげです。7月に行われた参議院選挙では多くのご支援を頂き、「現場の声を国会に届ける」というスタンスでライオンに立つことができました。本当にありがとうございます。皆さんの思いに応えることができるよう精一杯頑張ります。30年の教員生活で、悩んでいる子どもたちをたくさん見てきました。また、教職員の業務が多忙化していて、教職員は疲弊しています。子どもたちを中心に据えた学校、教育を喫進めます。実した教育活動はできません。子どもたちを安心して暮らすために、下がり高齢者の生活を苦しくなくしています。全ての年金受給者の年金を月に1万円上げたら約5兆円、市民全員の医療費を無償化しても5兆円強。私たちの税金5兆円は、市民の安定した暮らしのために使われなければなりません。

今、平和の危機です。この世界情勢の中、「軍事増強」をおおるような報道がなされています。「核共有」「軍事増強」「憲法改悪」必要ありません。先の参議院選挙では、改憲勢力が3分の2を超えましたが、「憲法改悪」を阻止し必ず平和憲法を守ります。そして、日政連議員の皆さんと連携し、「子ども」「くらし」「平和」を守るために力を尽くします。今後ともご支援のほどよろしくお願ひいたします。

六二二

滋賀県議会議員 大橋 通伸

「六二二 八六八九 八五五 五三三」のなげ 我ら生き継ぐよ、これは、昨秋、ある新聞に投稿にされた短歌です。私は、「ろくにいさん、はちろくはちろく、はちろく、ごさん」のなげ、われらいきつぐ」と読みました。が、この読み方は、この歌の作者の思いでおりでしょうか？ いずれにしても、この歌、私の心に染みしました。「八九」は「長崎原爆の日」。「八一五」は「敗戦(終戦)記念日」。「五三」は「憲法記念日」。この歌の作者は、先の戦争をご経験された方ということが分かります。この方の平和への熱い希求が伝わってきます。そして、おそらく、九・一九安保法の可決成立への強い憤りがから生まれた歌であろうと思います。

「六二二」……あの日の衝撃をお伝えします。「日本の安全保障のためなら、十和田湖や松島湾、琵琶湖を埋め立てることができませんか」、これは、翁長雄志、沖縄県知事の言葉です。昨年九月二十四日、日本海外特派員協会の記者会見での言葉です。「辺野古移設」の問題については、安全保障(国防)の本旨、片や、地方自治の本旨等々、様々な立場、論点からの様々な意見・行動が報じられてきました。当事者の立場になつてどうか、当事者に寄り添ってどうか、私もよく口にしてますが、翁長知事のこの言葉は、私をスルドク刺しました。日本の世論が大きく揺れ、日本の対路が大きく問われた昨年でした。今年こそ、子どもたちに胸を張れる日本を創るため、みなさん、これからも一緒にがんばりましょう。

『労働三権が危ない！』

湖南支部

中野 佳子

最近、この国でも今まで以上に危ないことや心配なことが次々と起こっていて、のんきな私も更にならなくなりました。

その一つとして、憲法28条の「労働三権」も危ない、という状況を、2018年以降、大津地裁・京都地裁・大阪地裁・大阪高裁で目の当たりにしています。

ストライキをしたことが犯罪とされて「執行猶予付きの懲役」という判決が大阪地裁・高裁で出され、最高裁に上告中の人が居ます。大津地裁では、ピラミッドをしたことが犯罪として改善を求めた行為(コンプライアンス活動)が犯罪として起訴され、また、建築現場の法外な違法行為を指摘して改善を求めた行為(コンプライアンス活動)が犯罪として起訴された案件は、9/13に求刑の予定で、約4年前に私が初めて公判を傍聴した時、被告とされた人たちは警官に挟まれ、手錠・腰縄で入廷。開廷中のみ外にされたそれと、閉廷後には再び装着され、やはり警官に挟まれて出て行かれました。

どんなに悪いことをしたのか？

大津地裁でのこれら2つの案件の公判法廷で、何度かビデオ上映がありましたが、何時間も見ただけで、コンプライアンス活動の様子を労働組合員らが自ら撮影した動画を、傍聴席で何時間も見た日がありました。検察側の証拠として、

組合員が3人組で建設現場を訪問し、法律違反の点を指摘し改善を求めています。必要に応じて警察や市役所などの担当者が来て確認している様子もありました。

組合員と現場責任者とは、終始穏やかに互いに丁寧に対応している様子でした。

映像を見ていた私の印象では「初めからの家庭訪問」という感じでした。組合員が「こんにちは」と挨拶し、「責任者の方はいいじゃないやしませんか？」と尋ね、問題点の改善を求めると、

「仕事で忙しいから、公判中にパブリックの法則」という言葉が、弁護側から何回か出てきました。

「大きな事故の背後には、それまで見過されてきた小さな事故があった」と、つまり「小さな現場を見過ごすことが積み重なると、大きな事故につながる」とのことだと知り、

大阪・箕路大震災の時に倒壊した高層道路、後で調べるとコンクリートの強度が足りていなかったと分かっていたことです。以後、関西生コン支部では、労働者の安全・建築物の安全を確保するために、コンプライアンス活動に力を入れて来られたようです。

行政が監督し切れていない法律違反をも指摘し改善を求め「コンプライアンス活動」には、「ありがとらう！」と感謝状が出ていても良いだろうと私は思いますが、逮捕・拘留・起訴され、犯罪者扱いされているのです。

法廷では、「今後活動が続けば、また逮捕されるかもしれないと思わないで結構なのはしんどくないですかね、このまま黙秘を続けてお組員を帰らせていくことが〇〇さんにとって良いのかなと思っております」と、取り調べの検察官から繰り返し組合員を追い詰める映像もありました。これは弁護側の証拠として、このように、憲法28条の「労働三権」が危ない事態が起きているのです。

マスコミの報道が少ないのですが、滋賀の案件です。まずは、9/13の求刑、そしてその後の判決に、みんな注目したいと思います。

被告とされている方も、粘り強く闘っていらして下さい。

連目にも関わらず、組合員の方々の不当に解雇されるなどの苦難に直面されています。

この数々の目に遭わされている「連帯労働関係生コン支部」は、生コン産業の労働者の労働条件を改善するために、セメント会社や大手ゼネコンと対決し、労働条件改善の成果を勝ち取ってきた組合です。資本家の側からは都合の悪い組合だからこそ「弾圧」なので、

憲法や労働組合法に則って人権尊重を第一に、裁判官が当たり前の判断をされるよう、私たちが市民が注目し声をあげることが必要だと思ひます。

「この夏」



船幸系(輝田南)

この夏は、例年以上に大変暑い日が続き、皆様には過ごしにくい日々ではなかったかと拝察いたします。お身体には十分気を付けられますようお祈りいたします。

さて、私のこの夏は、できる限り合間を見つけて、湖西支那書記長とご一緒に分会訪問をさせていただいたり、後援会の皆様宅へ訪問させていただいたりしました。分会訪問では夏休み中ということもあり、ひっそりとした校内で、幾分リラックスされた組合員の皆様と学校環境の老朽化や教職員の多忙化について懸念させていただきました。緊急性を有することはさすがに教育委員会に上げさせていただきます。昨今はコロナ禍での業務過多もあり、分会会議をなかなか普通日に行われぬ中、つながるごとの大切さを改めて感じるところです。

お願に出会い、「頑張つてや」、「身体に気を付けてください」、「教も出るんやろ、応援してるで。」といったお声をいただくたびに元氣と勇気をいただいております。

一方、この3年間、コロナ禍でなかなか開催が叶わなかった地域行事も、感染症拡大防止を行いながら、例年よりは縮小傾向であるものの開催され、私も地域の祭り(船幸祭)で神輿を担がせていただいたり、川向こうの石山商店街の夜市では、商店街の田舎協力や警備をさせていただき、「夏の風物詩」の旗出に間わらせていただきました。どちらの行事においても、地域の行事の存続と人の賑わいや交流の大切さを持ち続けたいと異口同音に強く語る関係者の熱意には頭が下がる思いでありました。いくつになっても学びがあるかと改めて感じていただきました。



石山商店街 夜市にて

「ウクライナ紛争に関わって」

湖北支部 勝木 允

以前から八月六日には嵯峨信之の「ヒロシマ神話」を朗読することにして、この詩との出会いは在職中に中学二年生の国語の教科書にあったのを生徒と学習したことがきっかけである。生徒には難解な詩であると思っただが繰り返し朗読することにより憤慨を爆発し表現に込められた作者の意図を捉えるように授業を進めた。学習の手段がいろいろとその都度示しながらこの授業では、朗読にねらいを絞った。特に(一)の部分に留意させた。(皆様はどのように朗読すればよいと思われませんか)作者の意図を踏まえた朗読をするまで長時間を要したが国語教材としての学習だけでなく人としての生き方にも関わることだと思ひ敢えてこのように取り組んだ。感銘を受ける詩であるが残念ながらその後の教科書改訂により採択されることはなかった。

先の大戦後も世界のどこかで紛争が起こっており現在もウクライナへの攻撃がロシアによって行われている。多数のウクライナの一般市民が犠牲になっているが正に人間の

ヒロシマ神話

死なれた時、どこかへはつて
別居しようとするか
隠れ場所を求めて逃げ出すか
隠れ場所を求めて逃げ出すか
死なれた時、どこかへはつて
別居しようとするか
隠れ場所を求めて逃げ出すか
隠れ場所を求めて逃げ出すか

本当の死を与えよと声を大にして(これは朗読ではない)プーチンに言いたい。因みにロシア・ウクライナ紛争についてロシア国民は真実を知らされていない点が大問題である。ウクライナの一般市民が多数犠牲になっている実態をロシア国民一人ひとりに情報統制の網の目をくぐり抜けるような何かSNSのようなもので知らせる必要がある。そしてロシア国内からプーチン政権の非を突いて倒す働きかけをしなければ経済制裁や武力闘争だけでは解決は望めないと思う。

湖北支部 小林 幸夫

水平社創立百年にあたって、前号に三人の方が論文を寄せておられた。私は、自分の体験を少し書いてみよう。私の小学校時代は戦争中で、同和地区の生徒が半数に近い学校だったので差別と貧困がひどい状態だった。六年の時、終戦となり同和教育にいち早く努力された日先生が、私の従兄と師範学校まで同級で仲良かったので、特に注目し、日先生の講演会も早くから聞きに行つた。昭和三十一年に初めて教壇に立つたI中学校も同和教育に熱心で先輩方が講演会や集いをやられた。四年後正式に採用されたK中学は荒れはて、その後毎年この学校に転任するのが困るので、いろいろな手で防がれたと言うことを苦々しく聞いた。その学校でみなさんと全力で、あとで鬼の小林との異名をもらい、今回総会に呼ばれるのは、よい意味で言うてくれる。その後方々の学校を回つて、最後がK中学の校区の小学校長だった。その学校に五年越しにあつた差別を巡る問題を必死に解決。今でもそのことを七十になった教え子が評価してくれる。しつこく残る差別問題の解決を祈りつづける。

「天の声?..それはいったい誰の声!」 甲賀市議会議員 福井 進
7月14日(木)の夜、組合の先生方や管理職から「今日になって教委から『夏休みにはタブレットを持ち帰らせるように!』という急な指示があり、混乱している」という相談がありました。

本来、教材、教具の活用は、子どもファーストで各学校が決めるべきもの。現場の声も聴かず、トップダウンで強引に進めることは許せません。翌日、教委に行つて話を聞いても「急なお願いをして、申し訳ない!」現場を知っている担当主事の苦しい返答?

これが、たまたま甲賀市教育委員会に降りてくる「天の声」?

天の声...教育基本法改正後に聞こえた政治的な声

その後、現場の先生方から話を聴いてみるとたまたまさんの問題点が浮き彫りになり、再び教委へ行つて次長と懇談。天の声と現場の声を板挟みで苦しい返答?

現場に頭を下げて甲賀市教育委員会が優先したのは「天の声」?

9月議会的一般質問は「タブレットの活用と教育予算の確保」を題して、行います。

「タブレットの活用」...学校現場に混乱をもたらしたことに ついて

「国・県の補助金・交付金の獲得が目的」...本末転倒となっている予算について

盆明けから「虫垂炎」のため、救急車のご厄介になり入院、手術致しました。当初4日の予定が12日間になり、退院した翌日深夜に膿瘍による腹痛で再入院! 只今再入院4日目です!

(2022年 9月4日 甲賀病院にて)

会費を納めてください

この2年間はコロナ禍で、十分な活動ができませんでした。会費未納者の方は、今年度分に合わせた納入をお願いします。22年度の会費は必ず納めて頂きたいと思い、9月10日時点で未納の方には、振込用紙を同封しています。納入をよろしく願います。

主な会費の用途は次のようものです。

- ① 滋退教通信の制作や郵送にかかる費用
- ② 退職者への加入依頼や滋退教の諸会議の案内の郵送費
- ③ 県教組の上部団体に日教組や連合滋賀があったように、滋退教の上部組織として日教組、滋退連や退女教などの組織があります。それぞれ別の組織の会費や会議に参加するための旅費等（ケースによってはその上部団体からでる場合もあります）
- ④ 滋退教の総会や幹事会の旅費実費。秋のついでなどの行事に参加頂いた方の旅費補助

などが主な支出で、みなさまの会費の納入がないと、運営していきません。県教組から補助を頂いているのが現状です。会費の納入をよろしくお願います。

また、「一日1円カンパ」の365円は、日退教、滋退連や退女教などから要請のあったカンパについて、三役で相談をし、必要と思われればカンパに使わせて頂いています。

滋退教通信を大きくリニューアルしました。ご意見、ご感想をお寄せください。「こんなコーナーを」「こんな特集を」などのアイデアもお願いします。広報委員会を検討していきます。ご意見は下欄の「原稿などの送り方」で。

お見知り募集中

県教組と力を合わせて

「動評」「学力」「闘争」など、子どもたちを守るため、教育を守るため、日教組は闘ってきました。そして、一定の成果を収めることができてきました。しかし、組織の弱体化と当局の巧妙さも増え、いつの間にか「人事評価」「学力調査」と名を変え実施されています。時代の流れの中で保守を支持する若者が増え、組合に心を寄さない人が民間企業でも多くなっています。一方、過剰な「競争主義」「道徳の評価」など子どもたちにとって必要な「教育」とはかけ離れた方向に向かい、学校教育は危機的な状況にあります。それだけでなく、健康被害、命に関わるほど多忙な学校現場に、コロナが拍車をかけ、組合活動どころではないのが学校現場の実情だと思えます。向かい向かうように滋退教もがんばっていきたく思います。県教組の組合員を増やすために「声かけ運動を組織や教え子などで声かけののできる人」に「組合に入らなあかんで」の声をかけをお願いします。事務局 大塚 清高

投稿記事!!!

膨大な記事が多い世の中。ため込んでおかず、声を上げてくださいます。共感すること、アイデア、裏情報などい何でも結構です。執筆に投稿をお願いします。本号見開きページは、「お見知り・募集中」でした。次の正月号では、「わたしの思い出」と題して、お正月の思い出。地域によって異なる風習があると思いますので、その紹介などをぜひ投稿ください。お待ちしております。投稿は、下欄の方法でお送りください。

ちよっとおもしろいところ

地元の人しか知らない、景色や雰囲気などを紹介するコーナーです。県内には、知られざる名所が多くあります。有名にならな、観光客が押し寄せると困りますが、滋退教の委員にだけ、こっそりと教えてください。ドライブのついでに、知り合いの家を訪ねたついでに、御光してみたいと思います。「私は、今」と同じ要領で、原稿を作りました。下欄の方法で、お送りください。お待ちしております。

わたしは、今

退職されてから、新しい仕事をなさされている方や社会的な活動・運動を紹介し、今取り組まれていることを紹介頂くと、お店のコマーシャル・活動団体の加入呼びかけなども自由です。A4サイズにレイアウトして頂き、そのまま印刷の原稿として頂いてください。手書きの原稿でも大丈夫です。郵送したい場合は、お送りください。

表紙に使う写真

滋退教通信の表紙に使う写真を募集します。内容の紹介を願うことも可能です。年3回の発行で、
①春の号
②秋の号
③新年号
それぞれにふさわしい写真を募集します。写真提供のお名前を前にお知らせをお願いします。写真は、「JPG」で下欄の①③の方法でお届けください。

- ③ 印刷原稿、手書きの原稿、写真などの資料を、郵便で教育会館へ送る。
住所 大津市梅林一丁目4-15 滋賀県退職教職員協議会
- ④ 80文字以内の原稿でしたら、090-1242-3336 (大塚携帯)へお電話で相談
- ⑤ 送り方がわからない場合は、090-1242-3336 (大塚携帯)へお電話で相談

- 次のいずれかの方法でお送りください。
- ① 原稿をワード、エクセル、一太郎等で作成し、そのファイルまたはPDFファイルにし、sitalkyou22@gmail.com に添付ファイルとして送る。
- ② 印刷原稿、手書きの原稿、写真などの資料をFAXで送る
FAX 0-77-525-1885

第28回「日退教組織活動交流集会」(2022年10月14日)

レポート

第1分科・分散会 「平和・組織」

⑦ 「軍事基地化する鹿児島—戦争する国づくりの中で」

下馬場学 (鹿児島退)

軍事基地化する鹿児島—戦争をする国づくりの中で

鹿児島県退教協 下馬場 学

「戦後レジームからの脱却」と嘯いて、「特定秘密保護法」「戦争法」「共謀罪法」と立て続けに戦争する国づくりを押し進めてきた自公政権の下、鹿児島県においても軍備強化が加速度的に進められています。鹿児島県の実態を報告します。

1 鹿児島県の状況

(1) 種子島・馬毛島

- ①2018年3月 水陸機動団（佐世保に日本版海兵隊（殴り込み部隊）創設
10月 種子島で日米合同上陸訓練—「島嶼奪還訓練」

※離島が戦場になること

- ・全国で初めての自衛隊施設外での米軍の訓練
—民有地（含むウミガメの産卵地）・空港跡地（県保有・管理）
- ・4月時点では予算化無し



②馬毛島への自衛隊基地建設

- ・FCLP 及び関連施設建設から総合的自衛隊基地へ
→反対から容認派も（4自治体の分裂）
- ・歴史・自然（マゲシカ etc.）・森林法違反・購入額（評価額 20 億円→45 億円→160 億円）
- ・環境アセス・意見書・後出しの軍港建設—護衛艦「いずも」—空母化←専守防衛違反
- ・住民不在—2 回の市長選結果・議会による馬毛島活用計画・説明会でも納得できない住民
←アセス期間中での工事入札公告……市長の対応の変化・国会議員の圧力？
- ・自衛隊誘致による地域の活性化—自治体ごとの島民の反応



(2) 海上自衛隊鹿屋基地

①2015 年鹿屋においての米軍による空中給油訓練

- ・「鹿屋基地においては地上での訓練」—基地外では？ Cf 2016 年オスプレイ事故
Cf 市長「これ（地上訓練）以上 1mm たりとも…」→「日米仏」共同訓練に参加
- ・欠陥機オスプレイの飛来（小中学校・病院上空）

②米軍無人機部隊配備

- ・2021 年 12 月 日米合同委員会（2+2）決定…馬毛島が「候補地から整備地」+予算
2022 年 1 月 25 日 無人機部隊配備計画を唐突に発表（1/23 鹿屋市長選挙）
5 月 防衛相 県・市への説明—市民の不安
7 月 市議会→市長容認→県知事容認
10 月 MQ9 鹿屋基地到着
- ・無人偵察機 MQ9—偵察機としているがミサイル装備も可能
- ・海兵隊員 150~200 人の配備—基地内に収容できず市内のホテルに宿泊—コロナ・事件・事故等への不安
- ・「1 年」限定の運用？
—延期は？米軍を信頼？
いつでも使える基地？
自衛隊への「教育期間」？



(2) 奄美のみ사일基地・弾薬庫建設

- ・誘致時「米軍は来ない」—自衛隊誘致による地域の活性化・災害対応に期待
←2019年3月開所→9月日米「合同」訓練『オリエント・シールド』—以後毎年
- ・地下弾薬庫—「戦争継続」?—み사일基地建設説明時は弾薬庫建設の説明は無し
- ・2021年 電子部隊配備 (2022年度川内駐屯地配備)
- ・2021年 世界自然遺産登録
- ・2022年 『オリエントシールド』奄美市市内の公園使用
300m室内射撃場—市街戦想定



(3) 恒常的な米軍による低空飛行訓練—日米地位協定

- ・国内の航空法適用除外
- ・米軍の管制空域

2 米軍再編と日本の軍事基地化—2006年日米合同委員会「2+2」とその背景

(1) 2006年日米合同委員会「2+2」

① 沖縄における再編

- ・普天間飛行場代替施設—辺野古新基地・軟弱地盤・珊瑚・ジュゴン (cf アイデア)
- ・兵力削減とグアム移転 ・土地の返還及び施設の共同使用
- ・再編案件の関係

② 米陸軍司令能力の改善

③ 横田飛行場及び空域

④ 厚木飛行場から岩国飛行場への空母艦載機の移駐

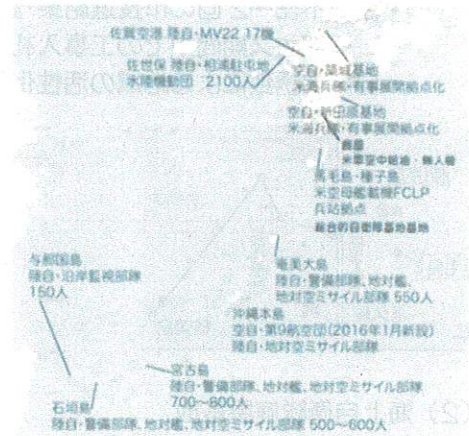
→馬毛島でのFCLP

⑤ み사일防衛 → 敵基地攻撃能・スタンドオフ

⑥ 訓練移転

(2) 便乗する自衛隊日本政府

- ・防衛費の増加…GNP2%? cf 兵器の爆買い
- ・中国「北朝鮮」脅威論・台湾有事・ウクライナ
→敵基地攻撃論・核共有論・護衛艦の空母化 (「いずも」「かが」の改修)
—「専守防衛」からの逸脱=憲法違反→「戦争をする国」へ



2017年9月16日付共同通信の配信記事によると、前陸上幕僚長岩田清文氏(昨年7月退職)が9月15日、ワシントンのシンポジウムで「米国が南シナ海や東シナ海で中国と軍事衝突した場合に米軍が米領グアムまで一時移動し、沖縄から台湾、フィリピンを結ぶ軍事戦略上の海上ライン『第1列島線』の防衛を同盟国の日本などに委ねる案が検討されている」ことを披露した、という

3 わたしたちは

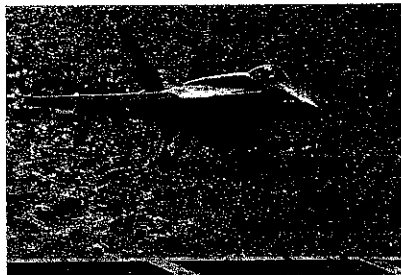
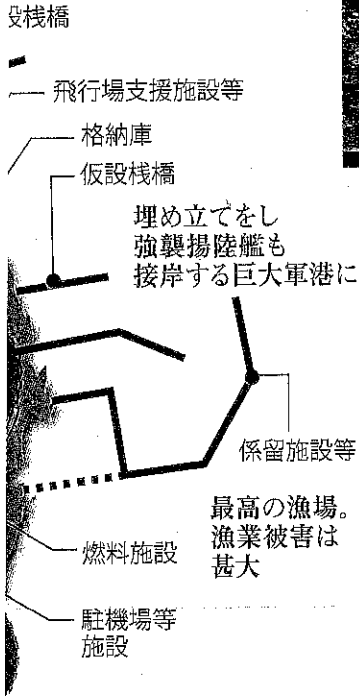
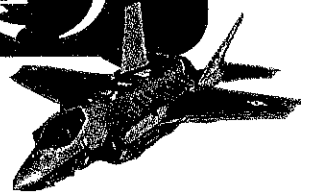
鹿児島県「農林水産業と観光の県」

種子島—Iターンの多い島 鹿屋—酪農・畜産の中心地 奄美—世界自然登録 …

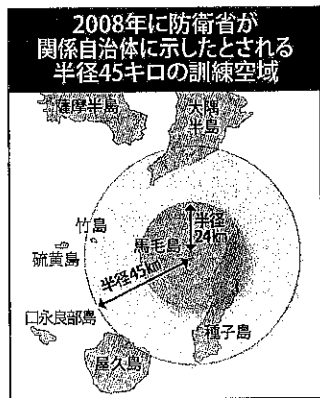
- ・闘い続けている辺野古・馬毛島そして全国の間
- ・「わたしは牛の世話で辺野古に行けないが、ここ日出生台で頑張る。あんたも原発反対で頑張れ」(大分県日出生台で海兵隊の訓練を監視し続ける衛藤さん)—それぞれの地の課題に

い 静かな島を爆音が襲う

馬毛島の軍事基地化にストップを!



激しい爆音をまき散らす空母艦載機



(2008年9月6日 南日本新聞より)

米空母艦載機離着陸訓練 (FCLP) 深夜3時まで殺人的な爆音が!

まずつくられようとしているのは、米空母艦載機離着陸訓練 (FCLP) 場。米空母は60-70機の艦載機を載せて海外に出撃。「敵」への空爆をくりかえします。そのために、出撃前に陸上基地を甲板に見立て、深夜まで発着訓練を行うのです。

政府は、訓練は年2回、20日間程度(準備含め2カ月程度)、朝10時~深夜3時まで行うとしています。深夜まで、数分おきに滑走路めがけて高速で進入し、アクセルを全開して急上昇する、殺人的爆音がまき散らされるのです。馬毛島から種子島までは 約10km。さえぎるものはありません。深夜まで深刻な爆音被害にさらされます。

日本政府は米軍を規制できません 日米地位協定で自由に飛び回る

政府は、米軍機の飛行ルートは種子島にかからないと説明しています。しかし、日米地位協定で米軍に国内法は適用されず、「米軍の運用に日本政府は口出しできない」というのが政府の立場です。全国で市街地上空での超低空飛行訓練が行われ、深刻な被害がもたらされています。日本政府は米軍を規制できないのです。

陸海空一体の強襲上陸訓練も



北限のソテツ自生群落

貴重な自然が壊される

には湿地や河川がたくさんあり、南限種や北限種、また多様な水生生物が生育しています。サシバなど渡り鳥、の貴重な休憩地であり、島そのものがトープ(生物が自然の状態で生息)です。椎の木など照葉樹林からまた見事なソテツ自生群落は世界で、西之表市が天然記念物に指定す。

自衛隊も1年中激しい訓練を 航空機訓練だけで130日間

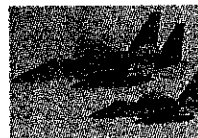
政府は、作られる自衛隊施設を、訓練と「有事」の拠点として使用するとしています。大きな騒音が想定される航空機訓練は、130日程度と言っています。1年中、激しい軍事訓練が行われるのです。自衛隊「空母」に搭載予定のF35B戦闘機などの連続発着訓練、強襲上陸訓練など、他国を攻撃することを想定した激しい訓練が計画されています。「火薬庫」も置き、「有事」の際には出撃基地ともなるのです。



米軍オスプレイから降り立つ自衛隊

【こんな自衛隊の訓練も予定】

(九州防衛局作成資料「実施する可能性のある自衛隊の訓練」から)



連続離着陸訓練 (F35、F15、F2各戦闘機)



模擬艦艇発着艦訓練 (F35B戦闘機)



機動展開訓練 (F35、F15、F2、KC767空中給油機、C2輸送機等)



水陸両用訓練



ヘリ等からの展開訓練 (CH47ヘリ、V22オスプレイ)

この他、不整地着陸訓練、空挺降下訓練、離着水及び救難訓練、PAC3機動展開訓練等が列挙されている。

